

## 第 3 章

### 町民意識の現状

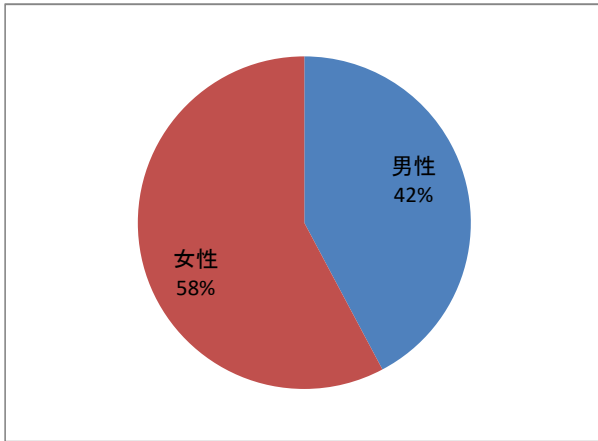
---

#### 1 町民意識調査結果（速報）

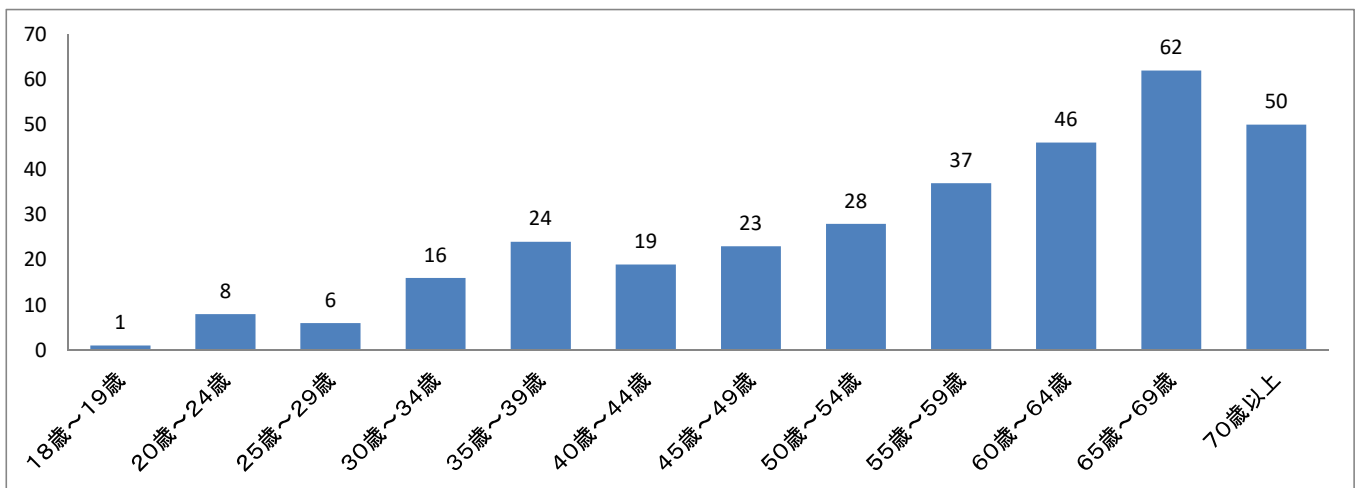
# 平成30年1月実施 男女共同参画に関する町民意識調査の結果(速報)

本調査は、町民の男女共同参画に関する意識の実態を把握し、本基本計画策定の基礎資料などにも活用するため、平成29年12月から平成30年1月にかけて実施しました。調査方法は、20歳代から70歳代までの男女を住民基本台帳から1,000人を無作為に抽出して振興会便で配布し、回収については返信用封筒で郵送扱いとしました。結果、315人から回答があり、回答率は31.5%でした。

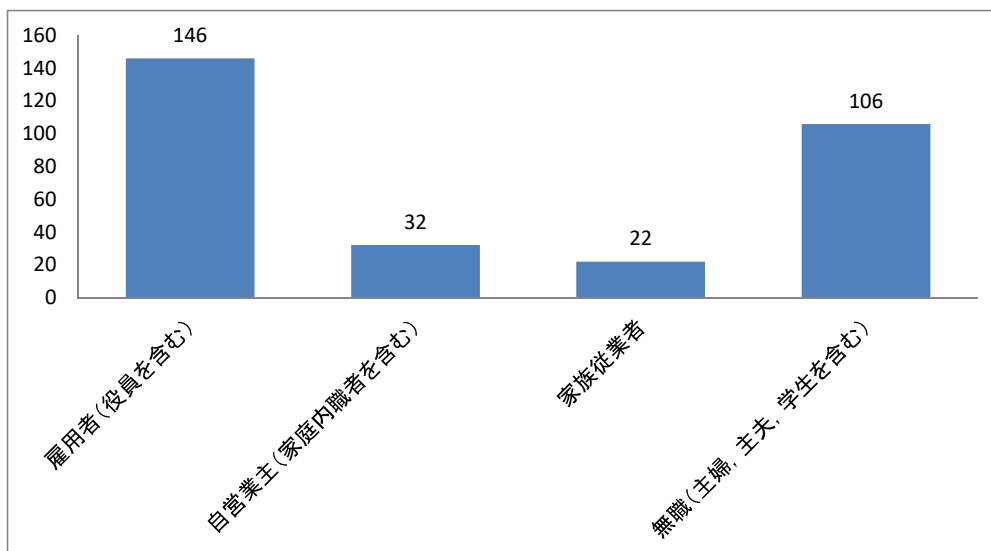
F1 性別はどちらですか。



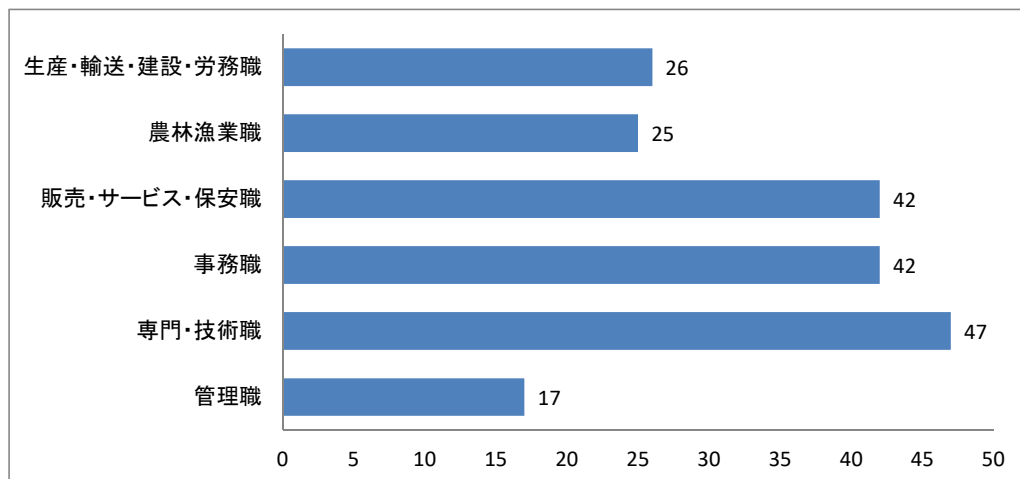
F2 あなたのお年は満でいくつですか。



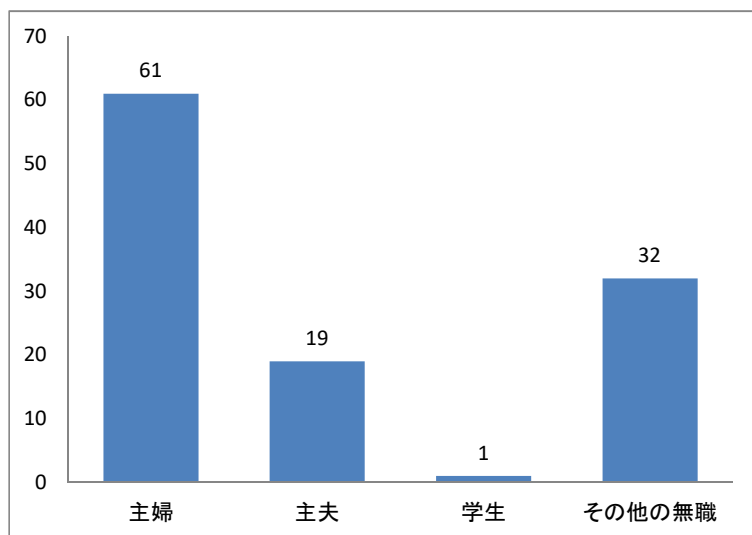
F3 あなたのお仕事についてお伺いします。あなたは、この中のどれにあたりますか。



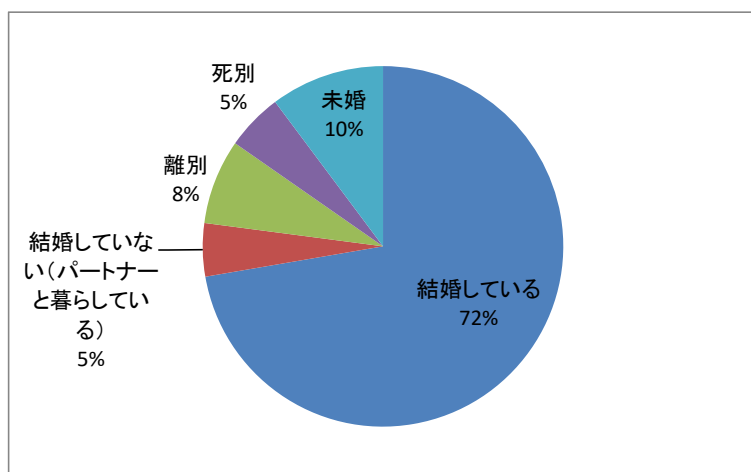
(F3で「(ア)雇用者(役員を含む)」、「(イ)自営業主(家庭内職者を含む)」、「(ウ)家族従業者」と答えた方に)  
 F3-a あなたのお仕事の内容は何ですか。



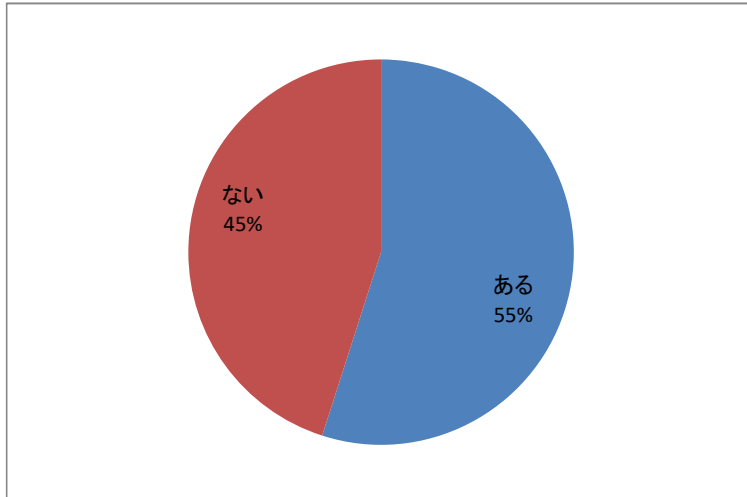
(F3で「(エ)無職(主婦, 主夫, 学生を含む)」と答えた方に)  
 F3-b あなたは、この中のどれにあたりますか。



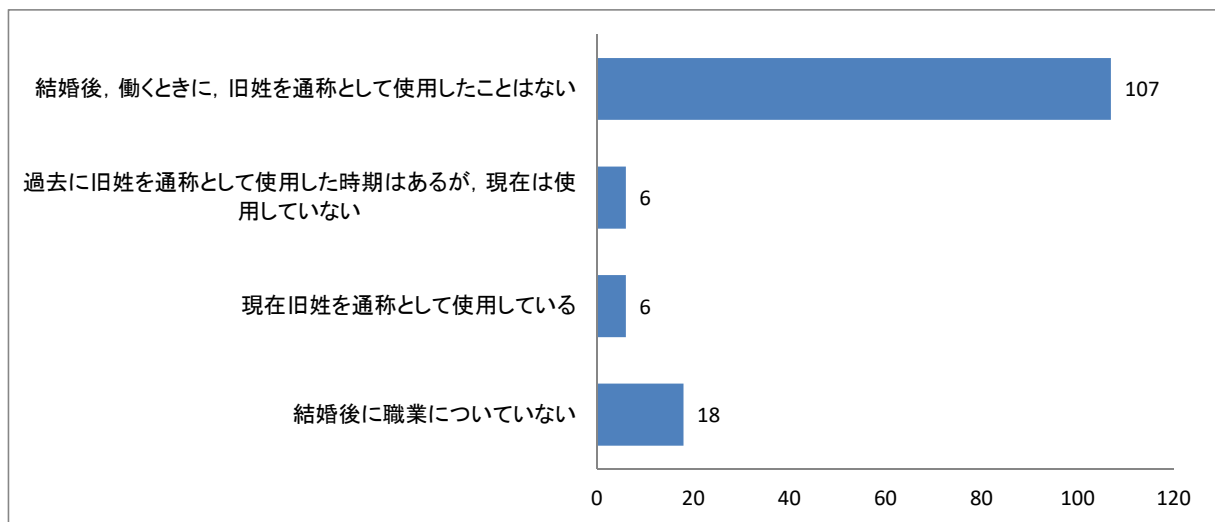
F4 あなたは結婚していらっしゃいますか。



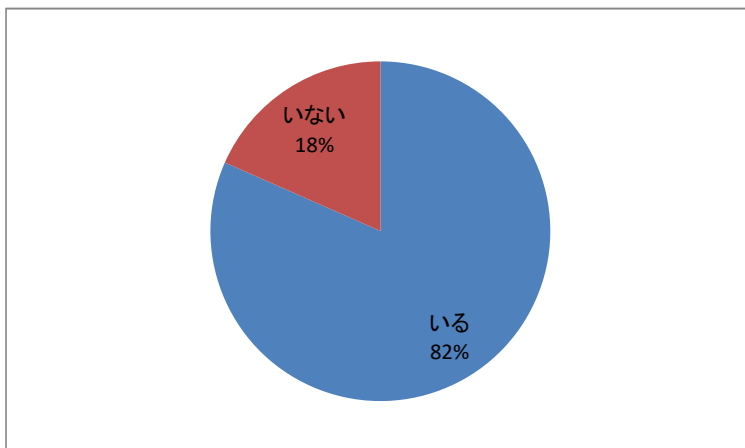
F4-a あなたは、結婚により戸籍上の名字(姓)が変わったことがありますか。



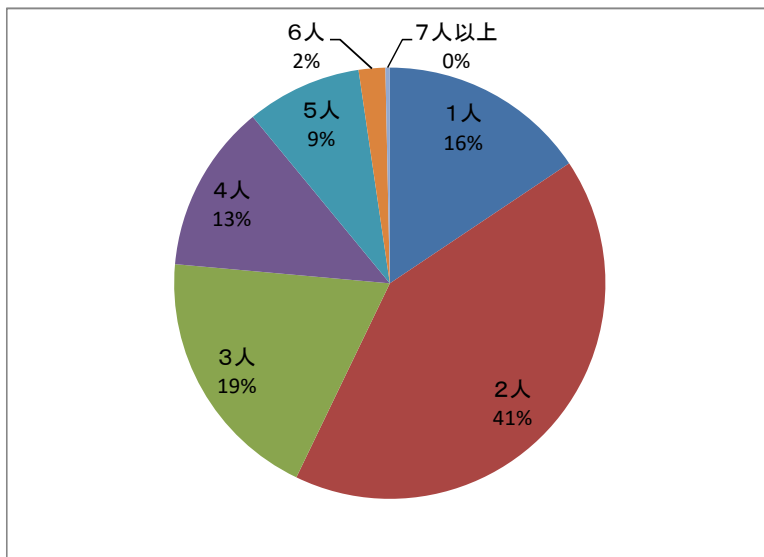
F4-b あなたは働くときに、結婚前の旧姓を通称として使用したことがありますか。最も当てはまるものを1つだけお答えください。



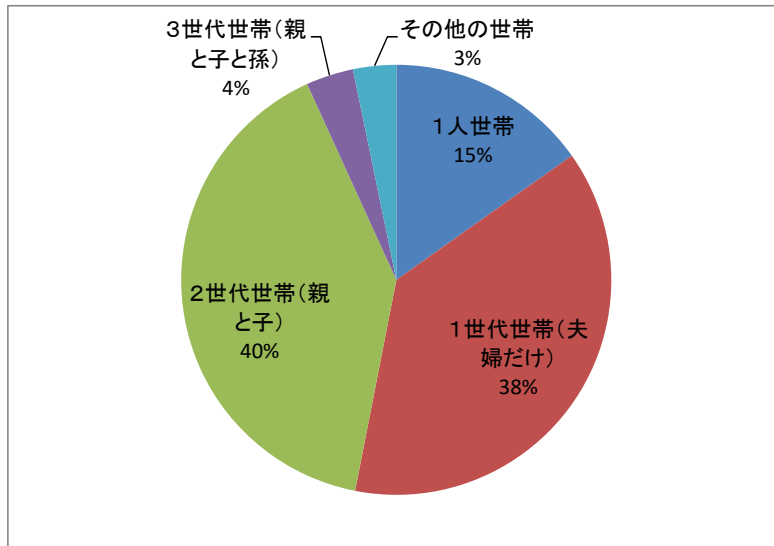
F5 あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。



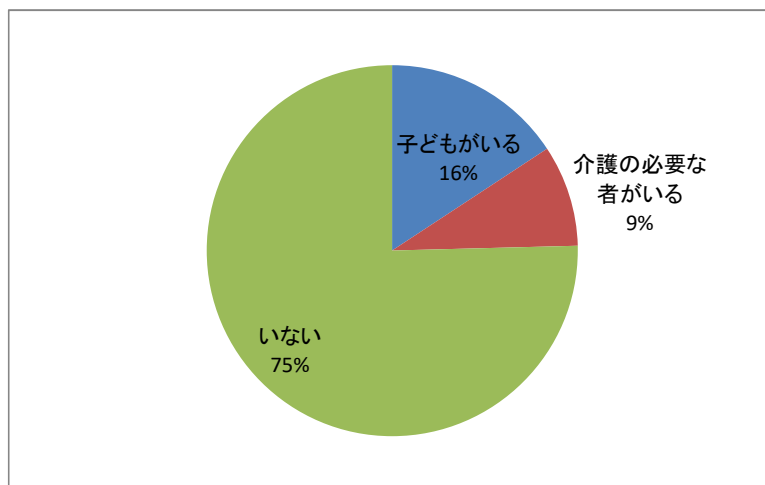
F6 家計を同じくするご家族は、あなたも含めて何人ですか。(使用人は含めない)



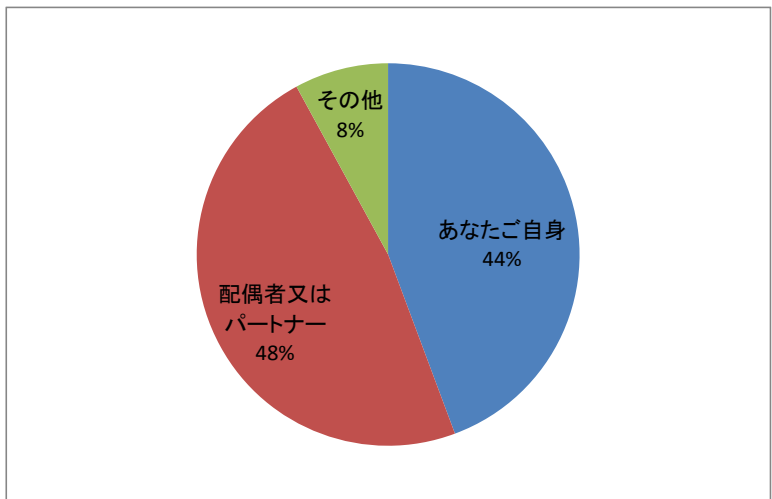
F7 お宅のご家族は、このように分類した場合どれにあたりますか。この中から1つだけお答えください。



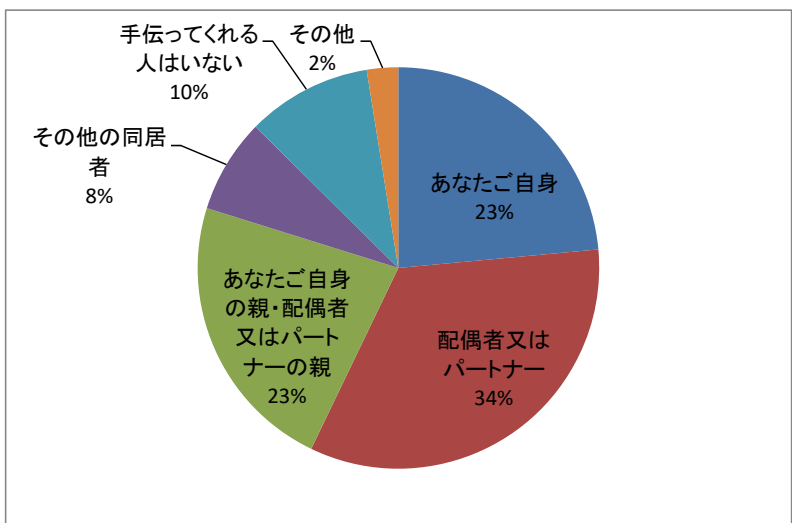
F8 世帯に、お世話の必要な子どもや介護の必要な方がいますか。この中からいくつでもあげてください。



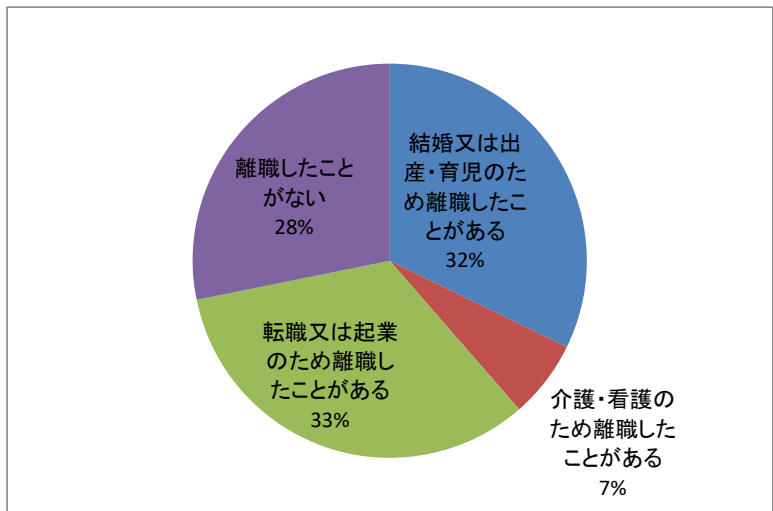
F8-a誰が主にお世話していますか。この中からいくつでもあげてください。



F8-bお世話のお手伝いをしている方はいらっしゃいますか。この中からいくつでもあげてください。

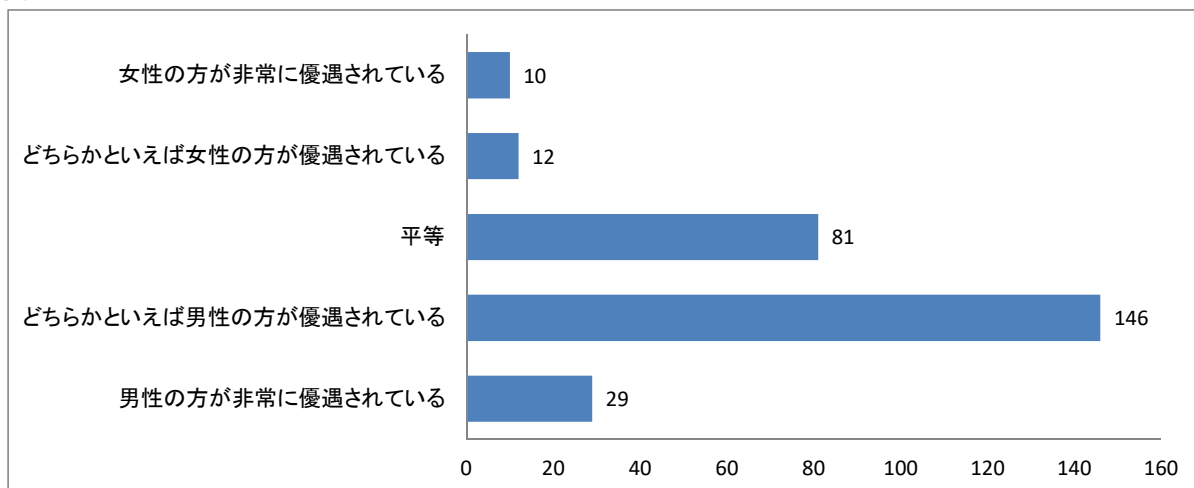


F9 離職の経験についてお聞かせください。経験があるものをこの中からいくつでもあげてください。

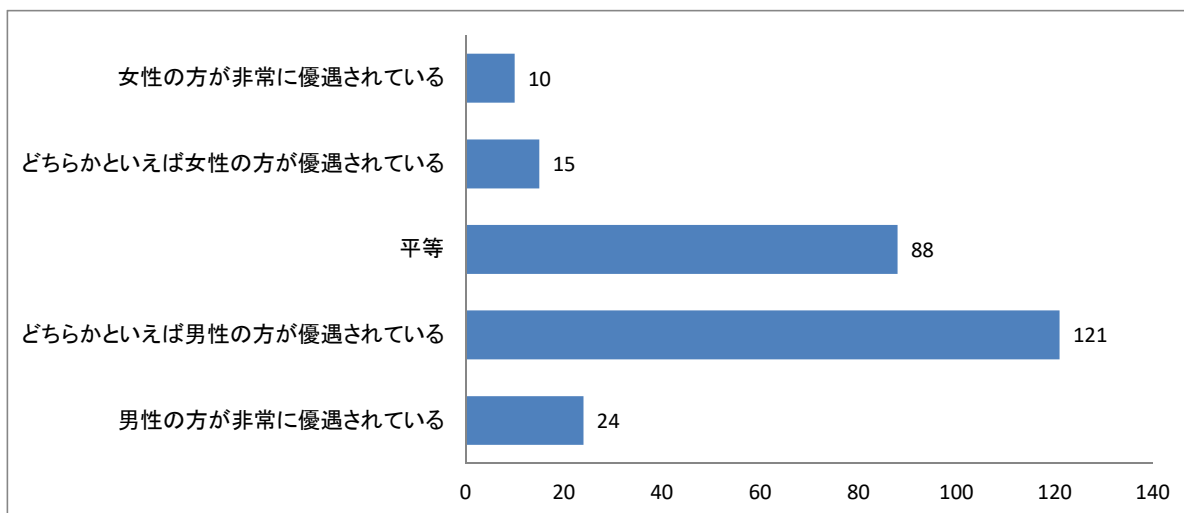


Q1 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(オ)の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

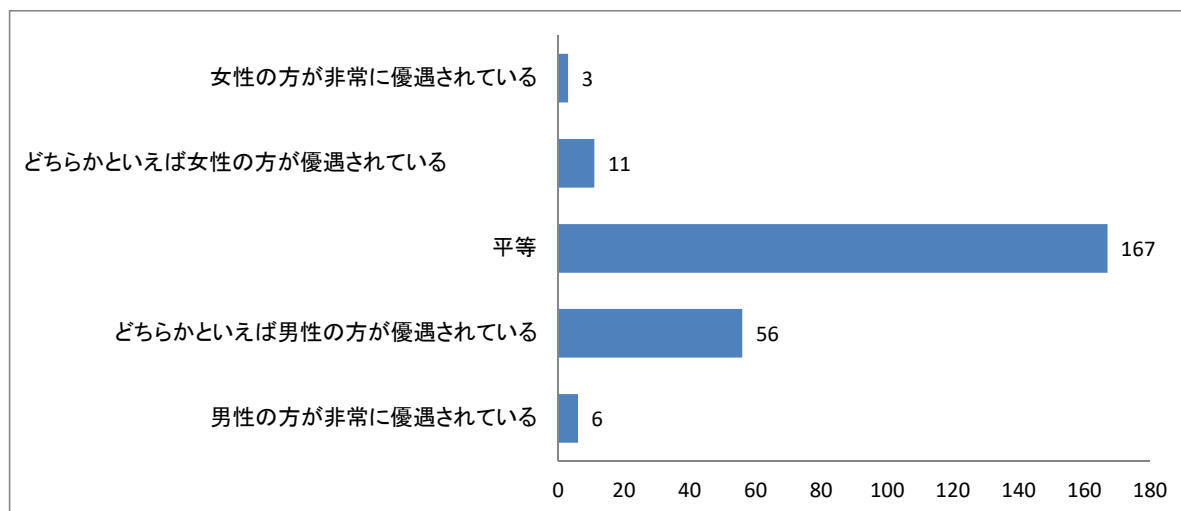
(1)家庭生活



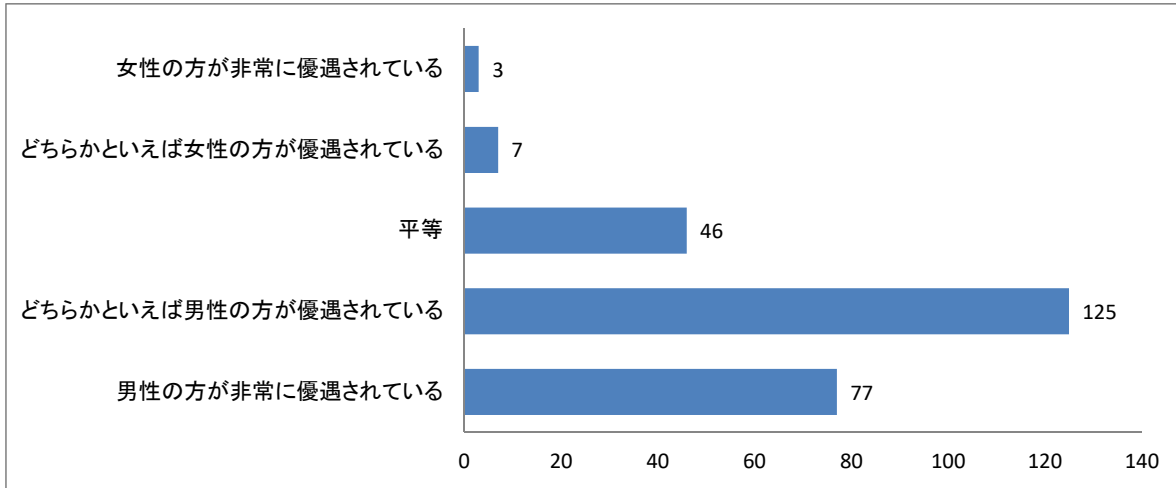
(2)職場



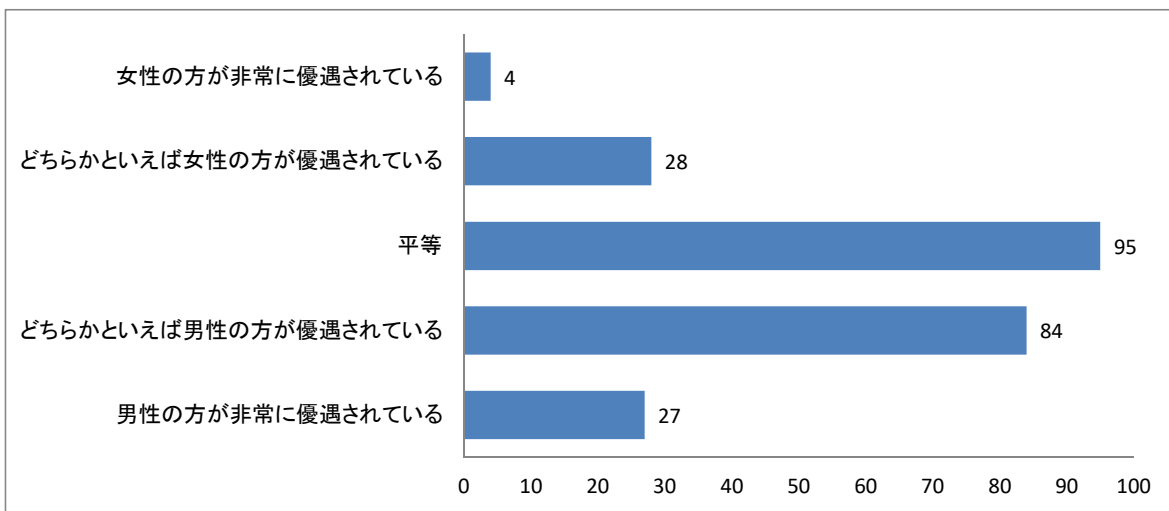
(3)学校教育の場



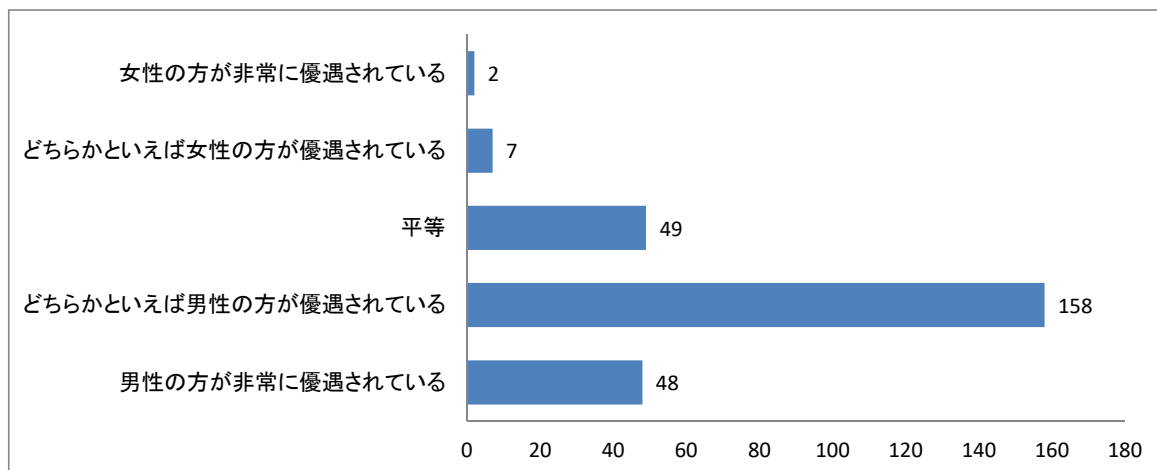
(4) 政治の場



(5) 法律や制度の上

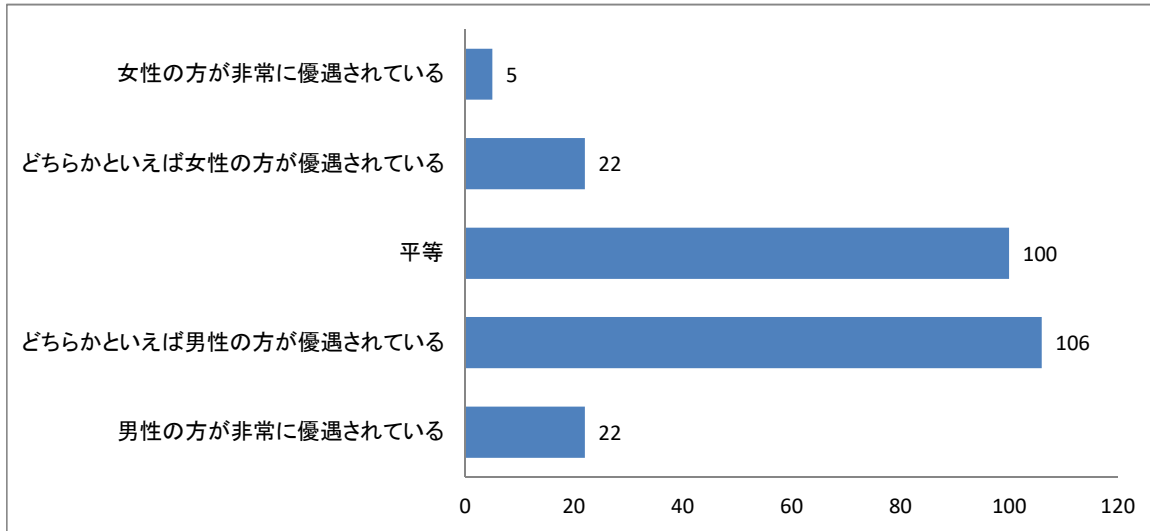


(6) 社会通念・慣習・しきたりなど

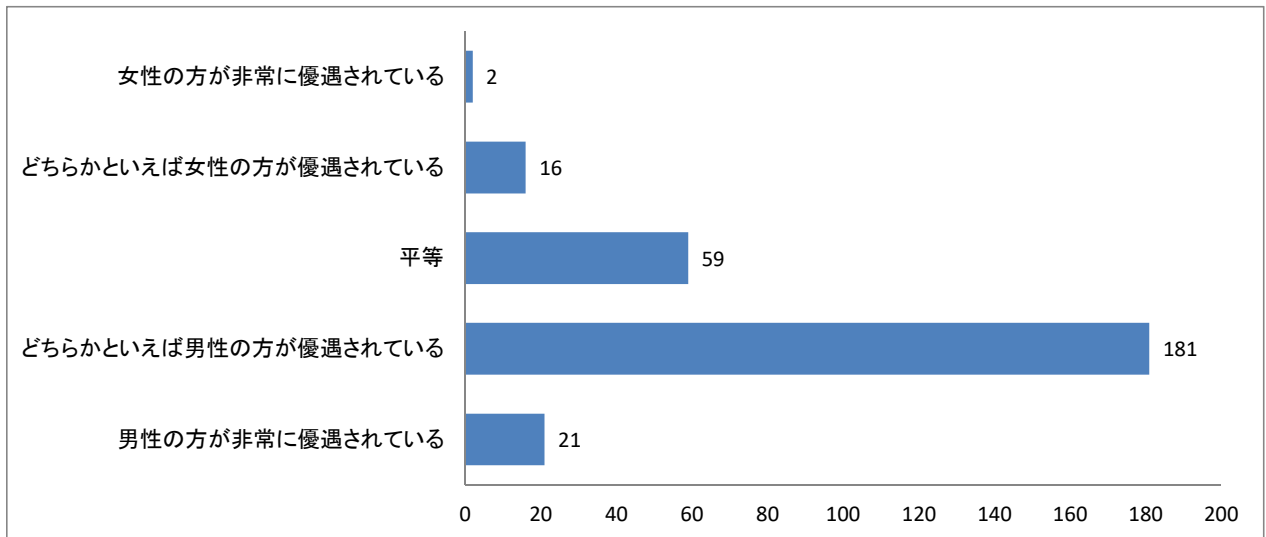




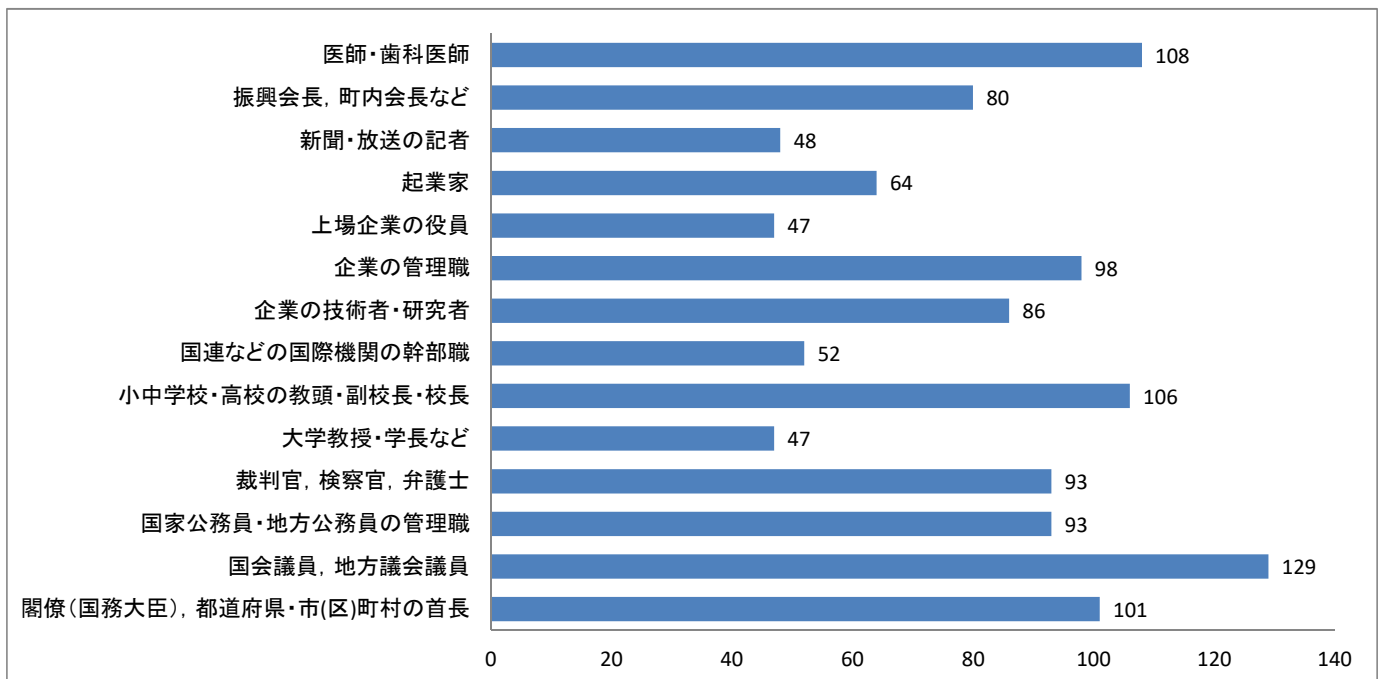
(7) 振興会やPTAなどの地域活動の場



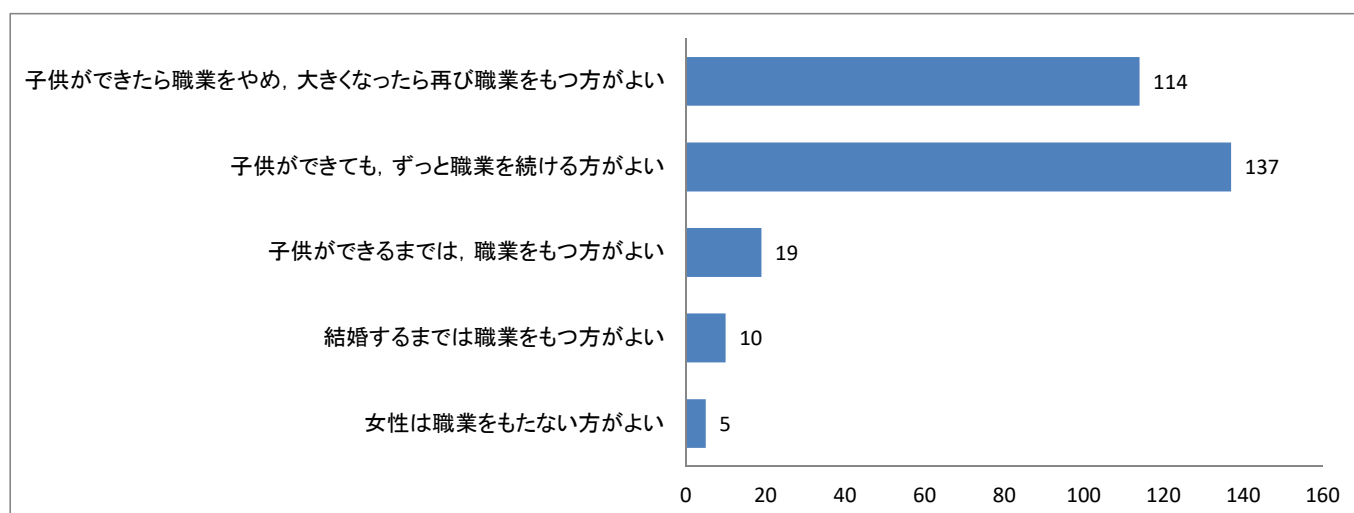
Q2 では、あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけお答えください。



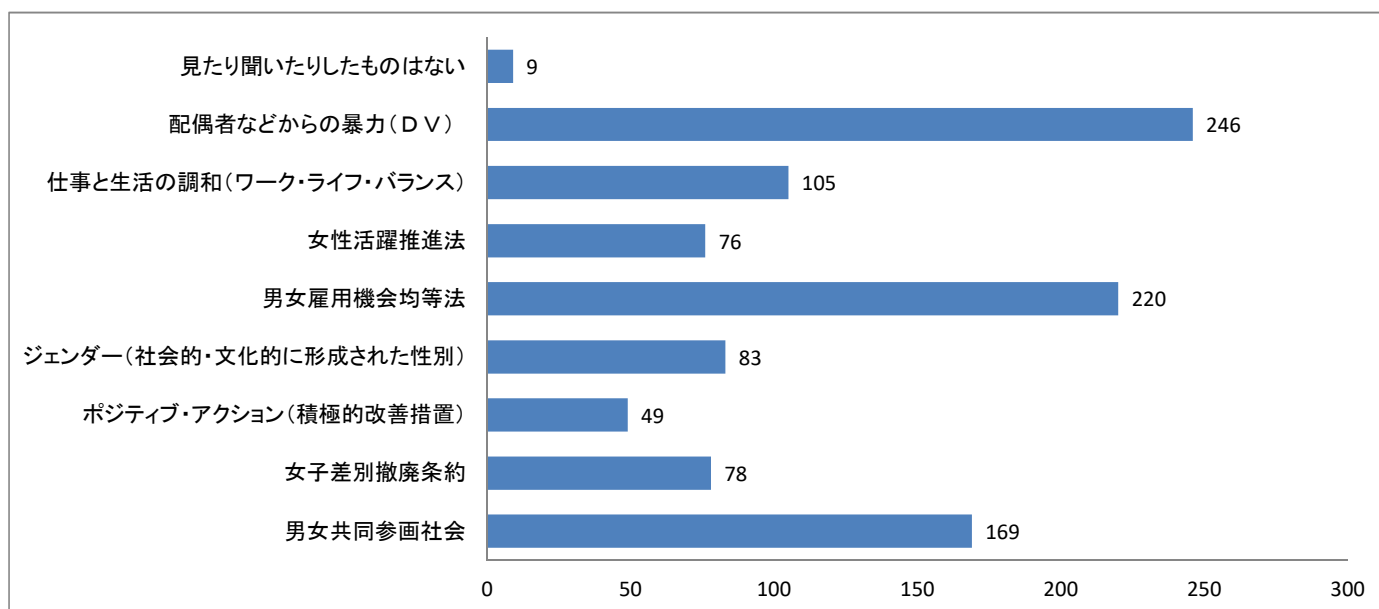
Q3 あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性が増える方がよいと思うのはどれですか。この中からいくつでもあげてください。



Q4 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。この中から1つだけお答えください。

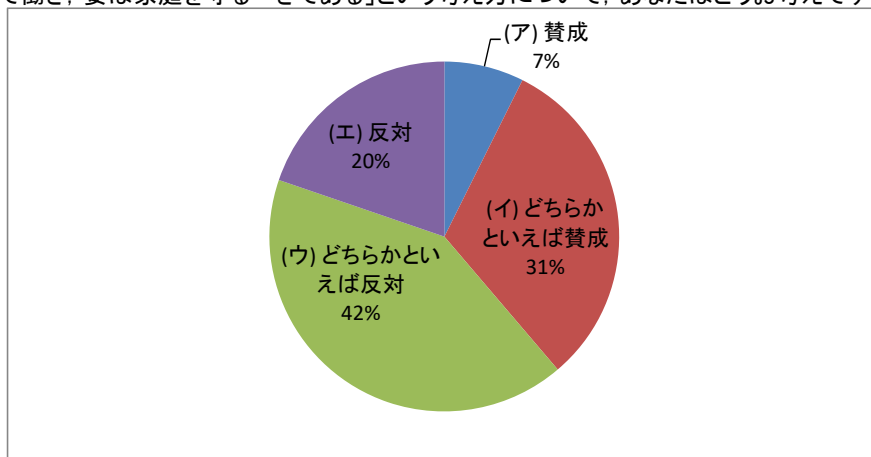


Q5 これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。

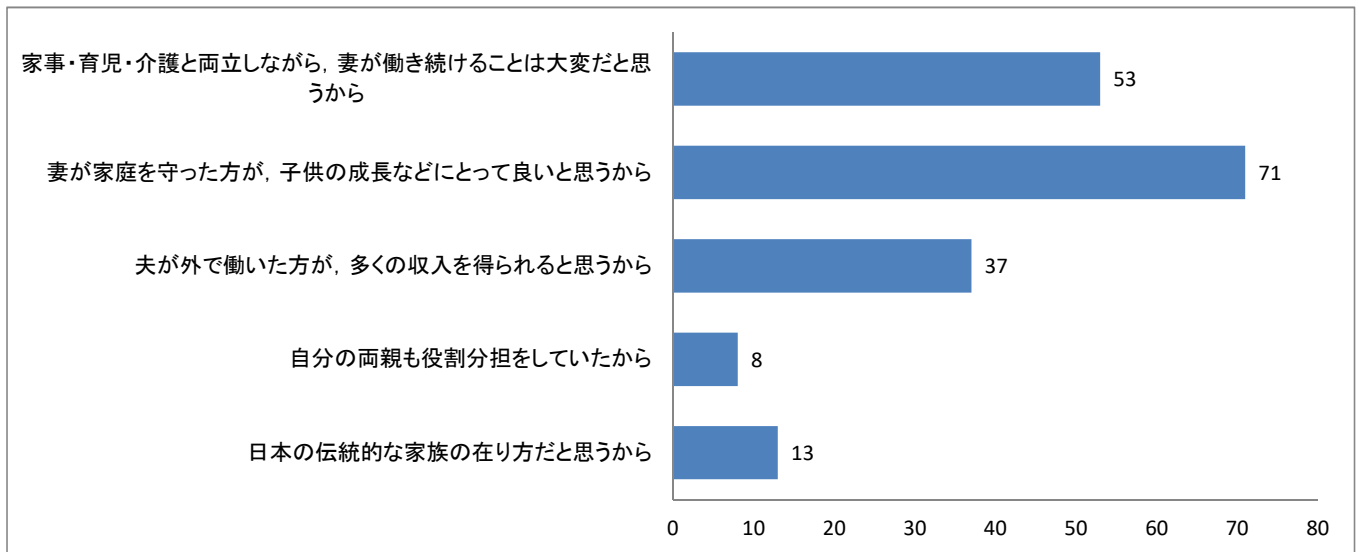


2. 家庭生活等に関する意識について

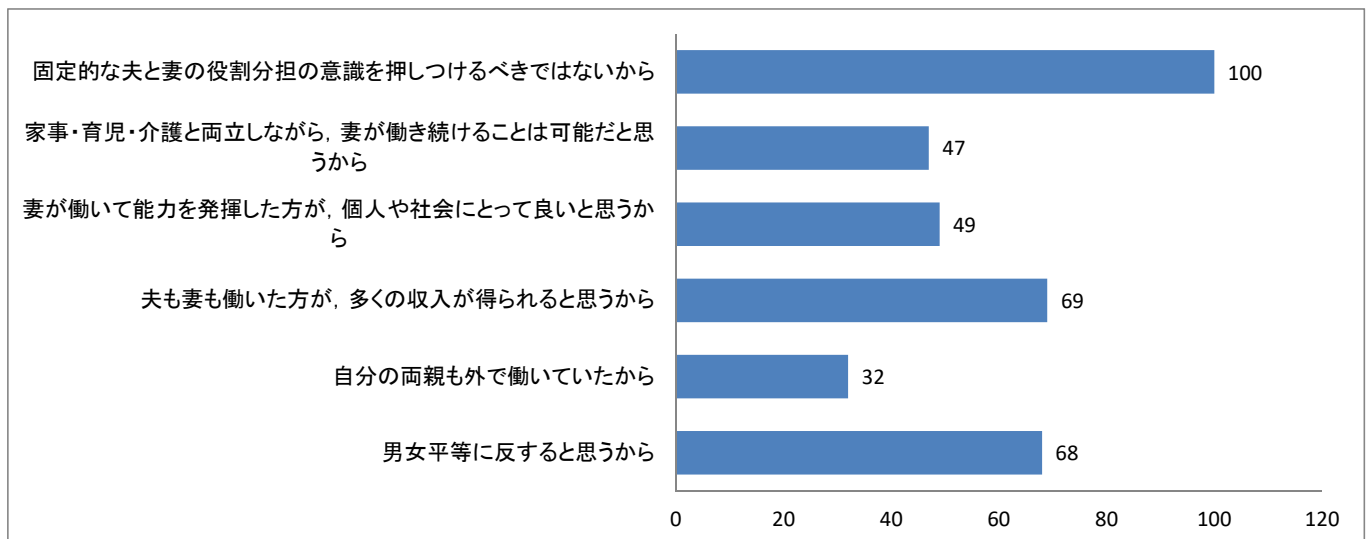
Q6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。この中から1つだけお答えください。



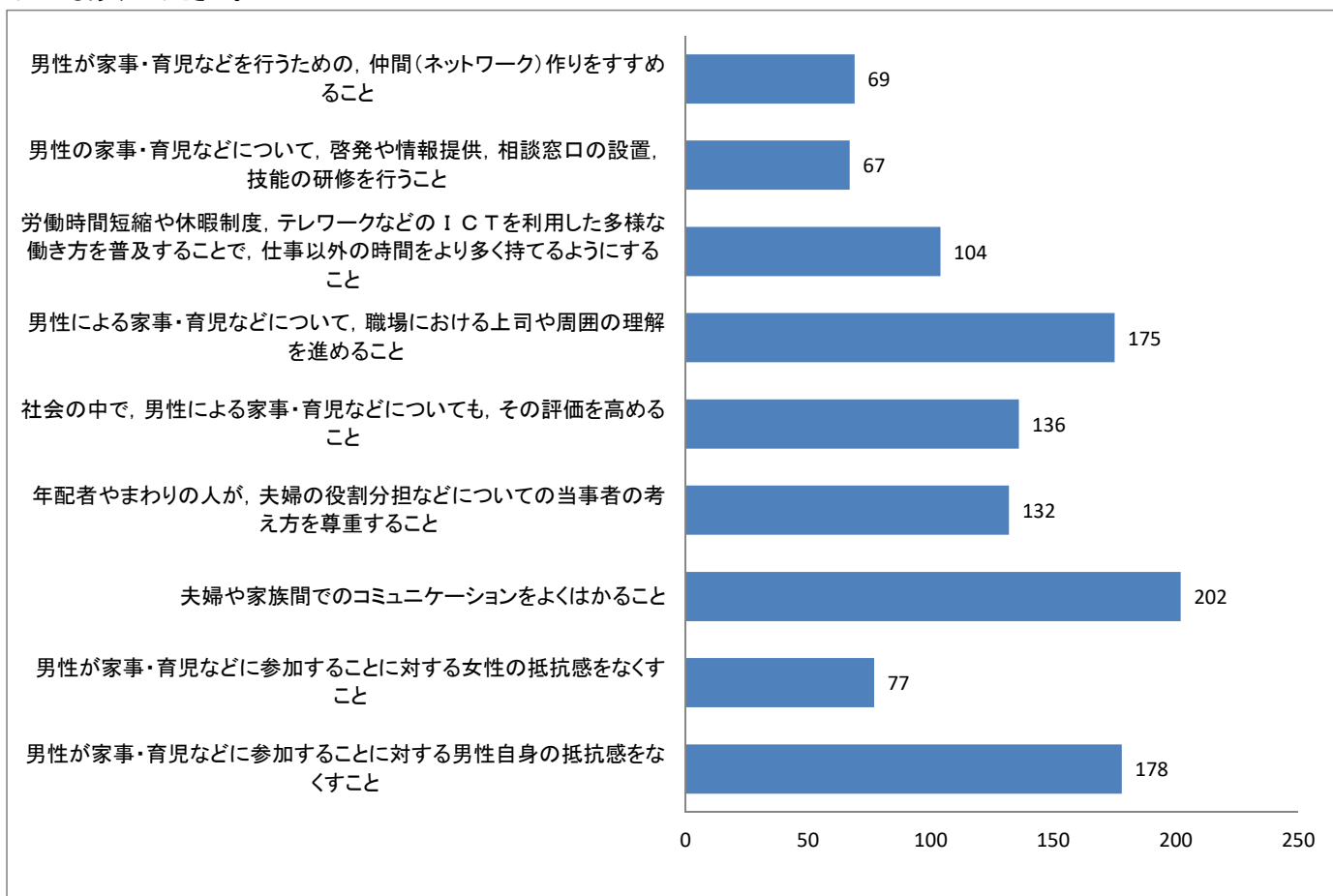
(Q6で「(ア)賛成」, 「(イ)どちらかといえば賛成」と答えた方に)  
 Q6-a それはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。



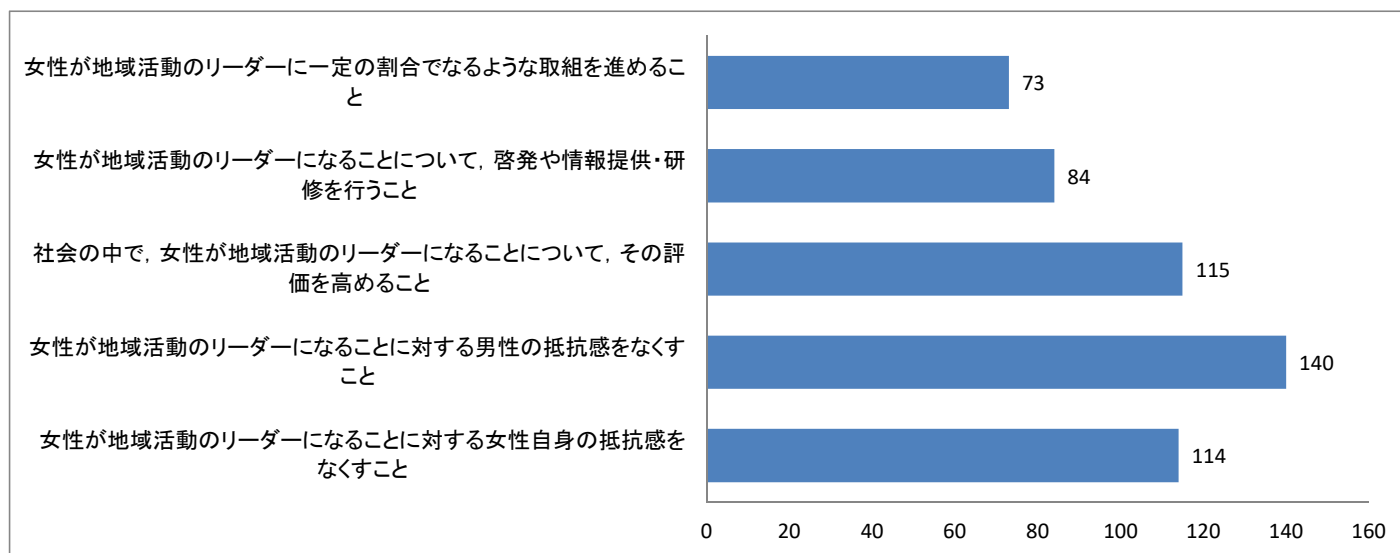
(Q6で「(ウ)どちらかといえば反対」, 「(エ)反対」と答えた方に)  
 Q6-b それはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。



Q7 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつかもあげてください。

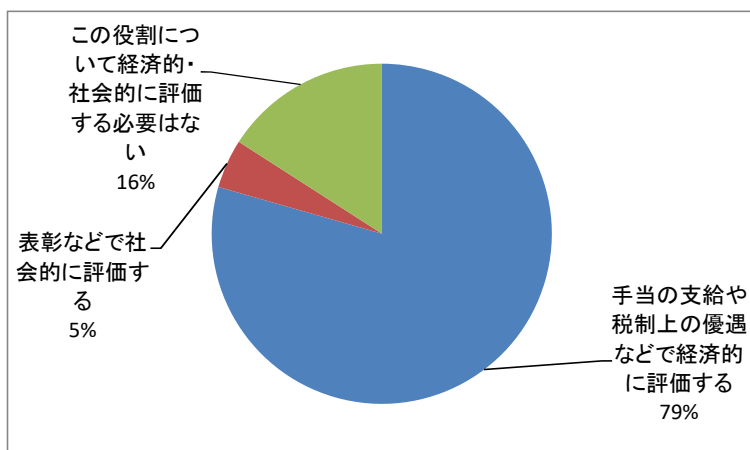


Q8 あなたは、振興会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつかもあげてください。

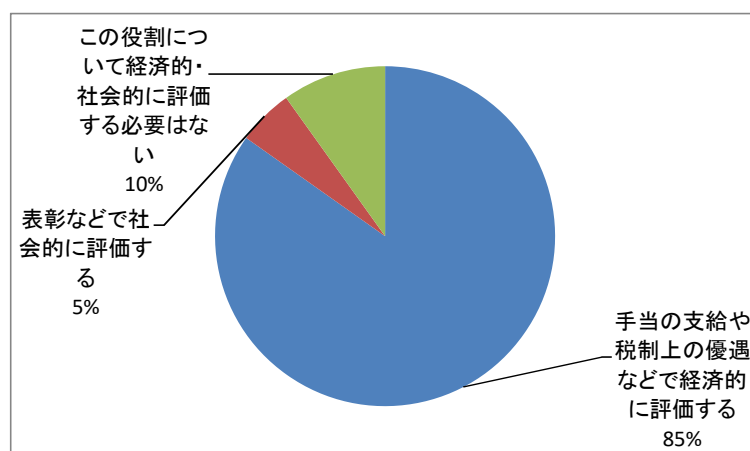


Q9「育児、介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考え方がありますが、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。この中から1つだけお答えください。

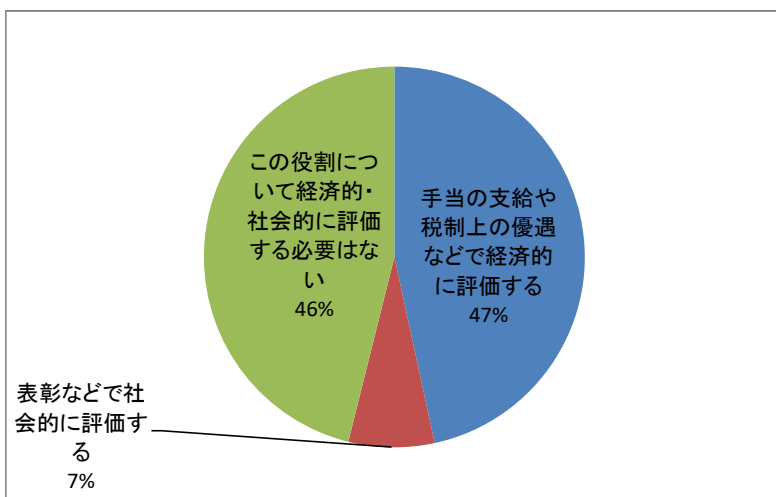
(1) 育児



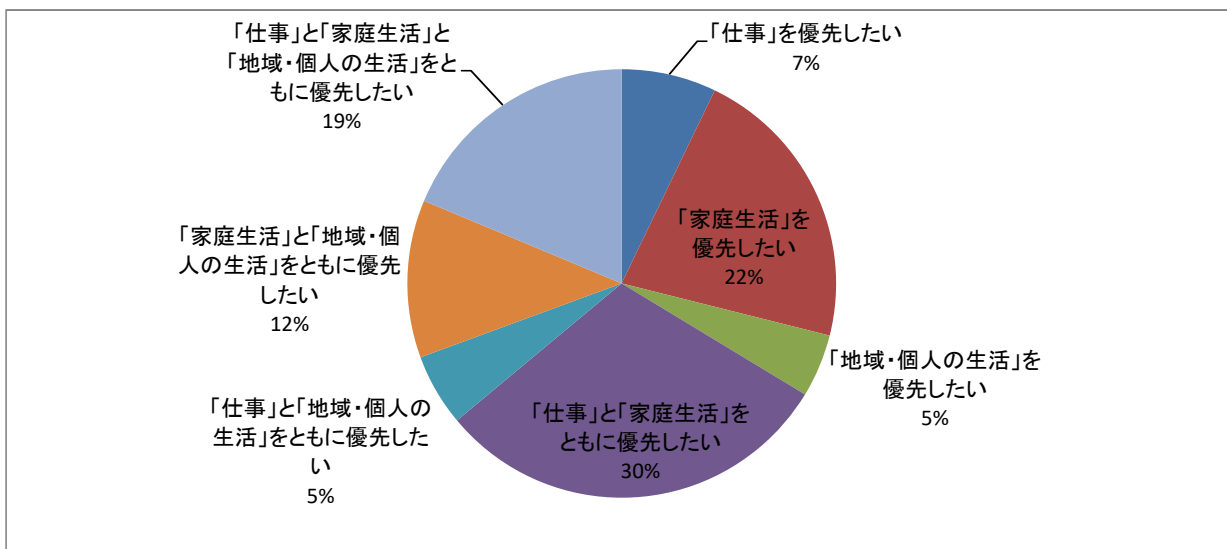
(2) 介護



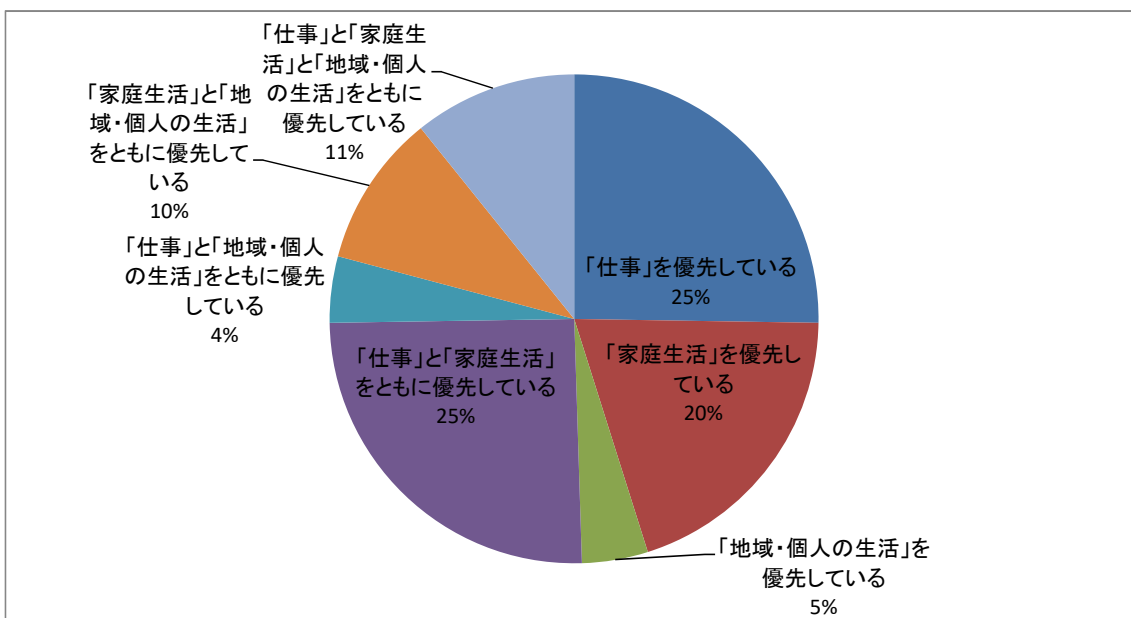
(3) 育児・介護以外の家事



Q10 生活の中の、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。  
 (1) まず、あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。



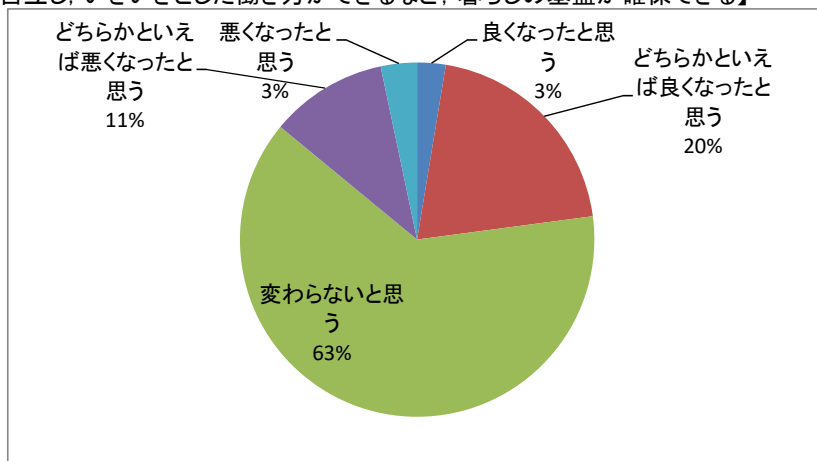
(2) それでは、あなたの現実・現状に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。



Q11 国では、このような「ワーク・ライフ・バランスが実現した社会」について、以下の3つの項目を掲げています。あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、それぞれの項目が1年前と比較してどのように変化していると思いますか。最も近いものを1つだけお答えください。

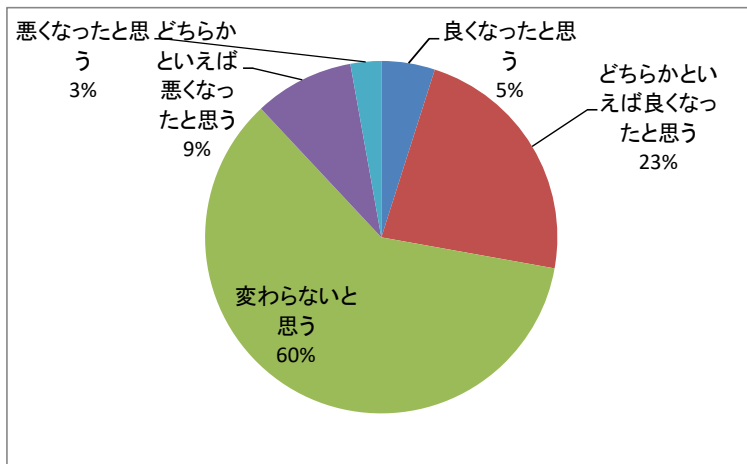
(1) 就労による経済的自立が可能な社会

【経済的に自立し、いきいきとした働き方ができるなど、暮らしの基盤が確保できる】



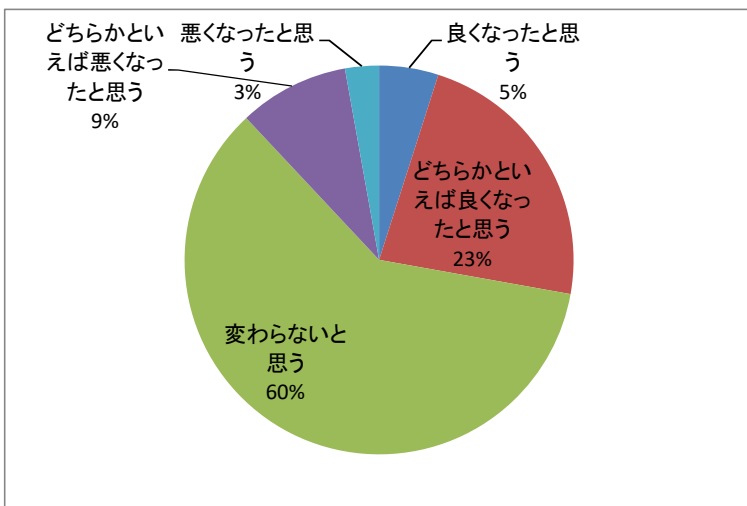
(2) 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

【健康で、家族や友人と過ごしたり、自己啓発や地域活動に参加する時間を持つ豊かな生活ができる】



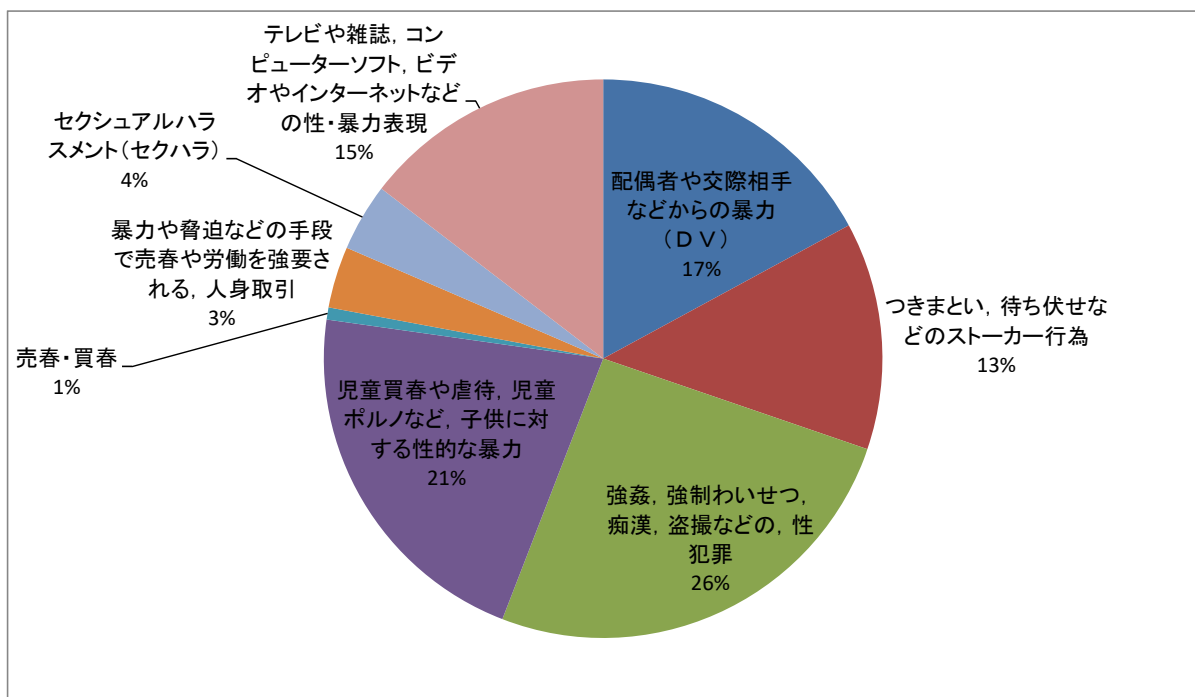
(3) 多様な働き方・生き方が選択できる社会

【誰もが、子育てや介護など個人の状況に応じて多様で柔軟な働き方や生き方ができる】



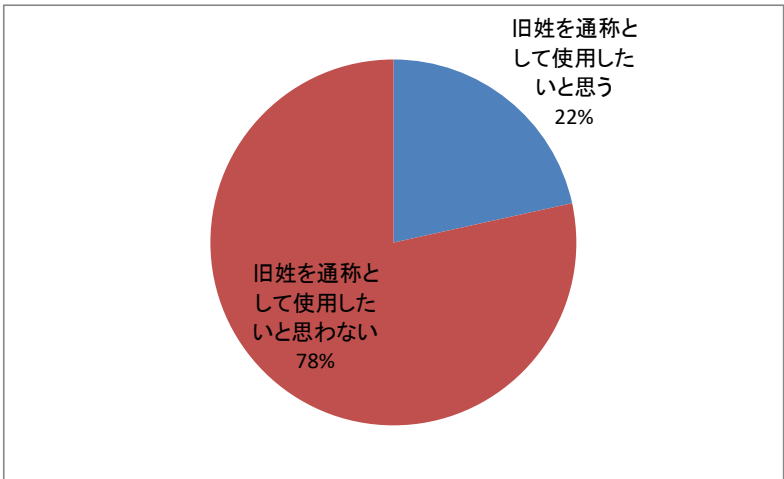
3. 女性に対する暴力に関する意識について

Q12 現在、国は「女性に対する暴力をなくす運動」に取り組んで、次のような暴力への対策を進めることとしています。この中であなたが最も対策が必要だと考えるのはどれですか。この中から1つだけお答えください。

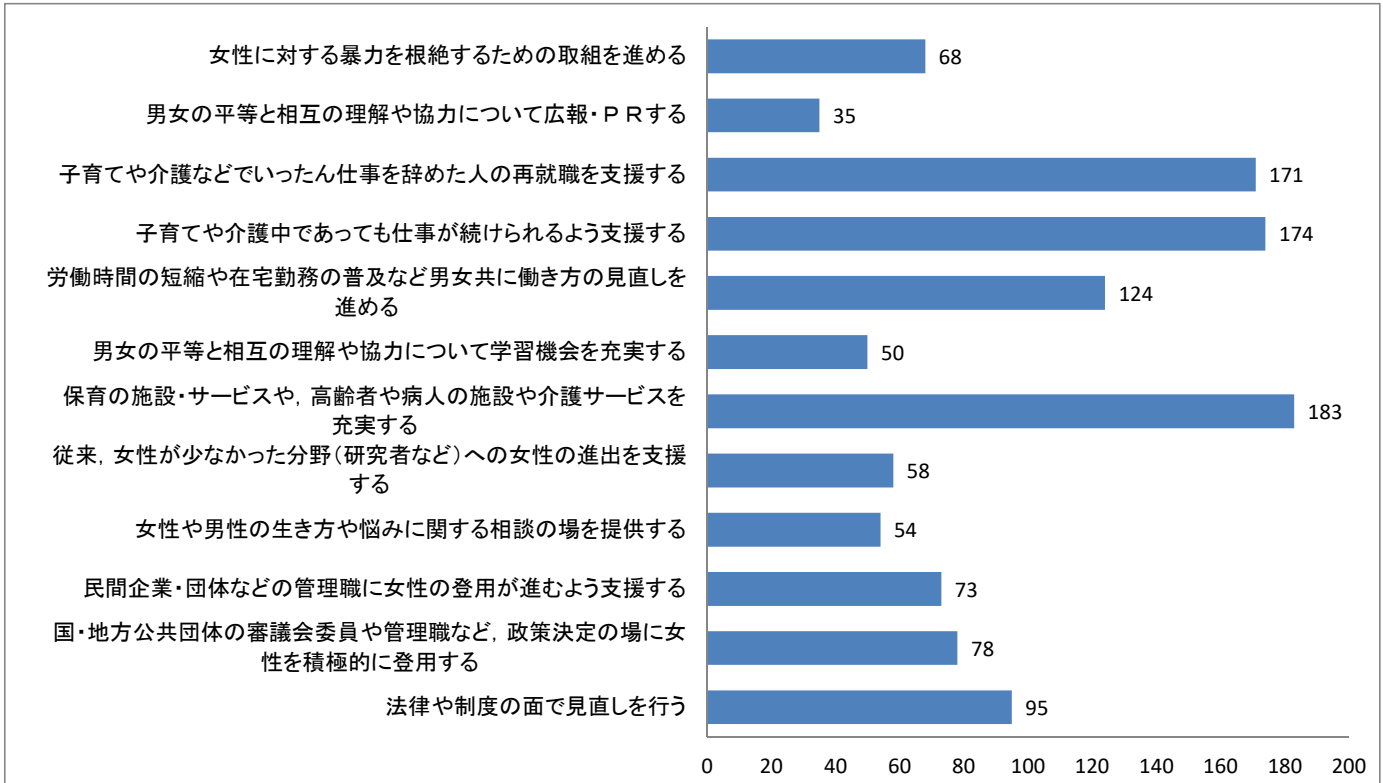


4. 旧姓使用についての意識について

Q13 あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。あなたが結婚なさっている、いないに関わらず、お答えください。

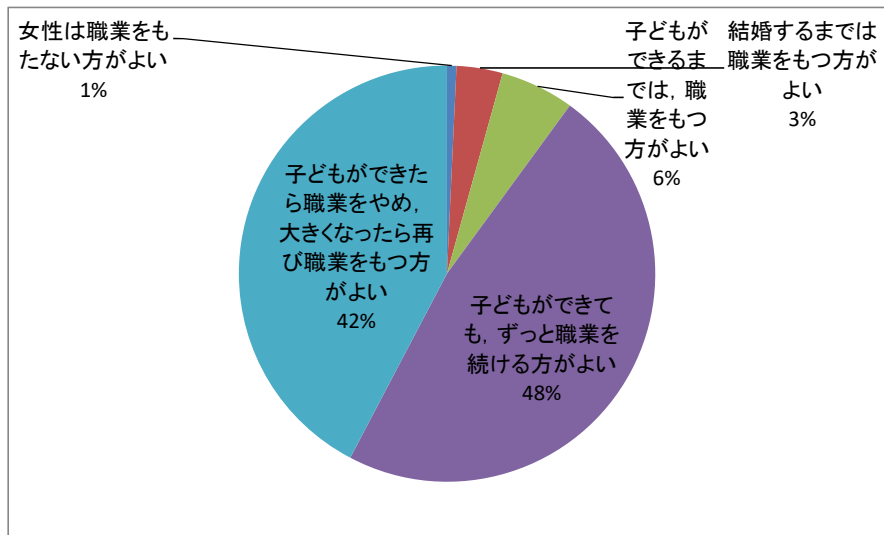


Q14 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



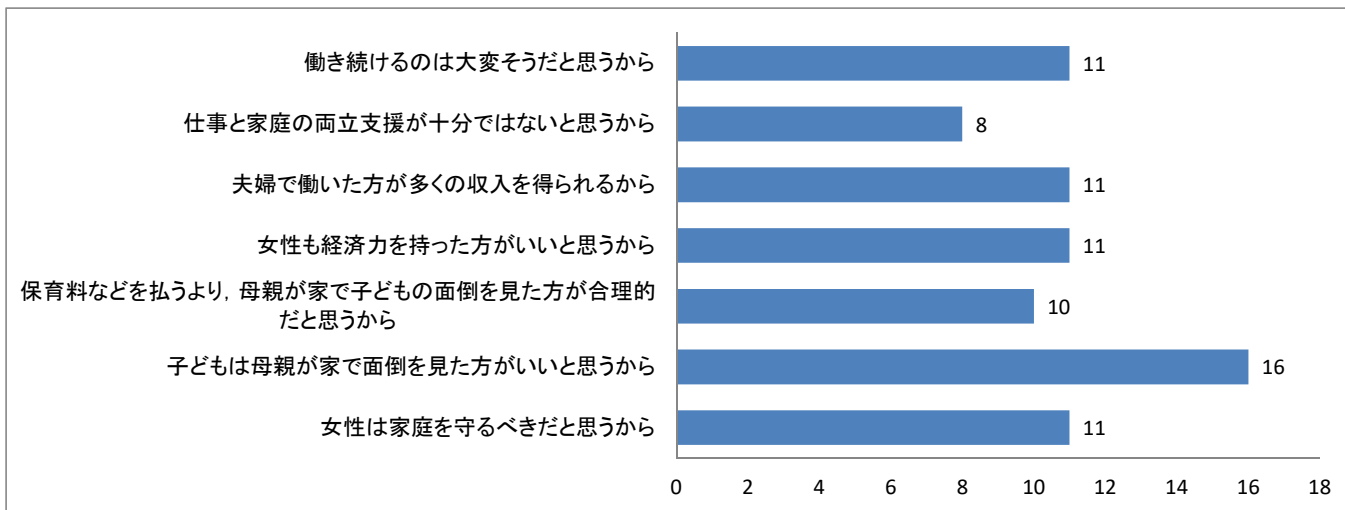


Q15 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。この中から1つだけお答えください。



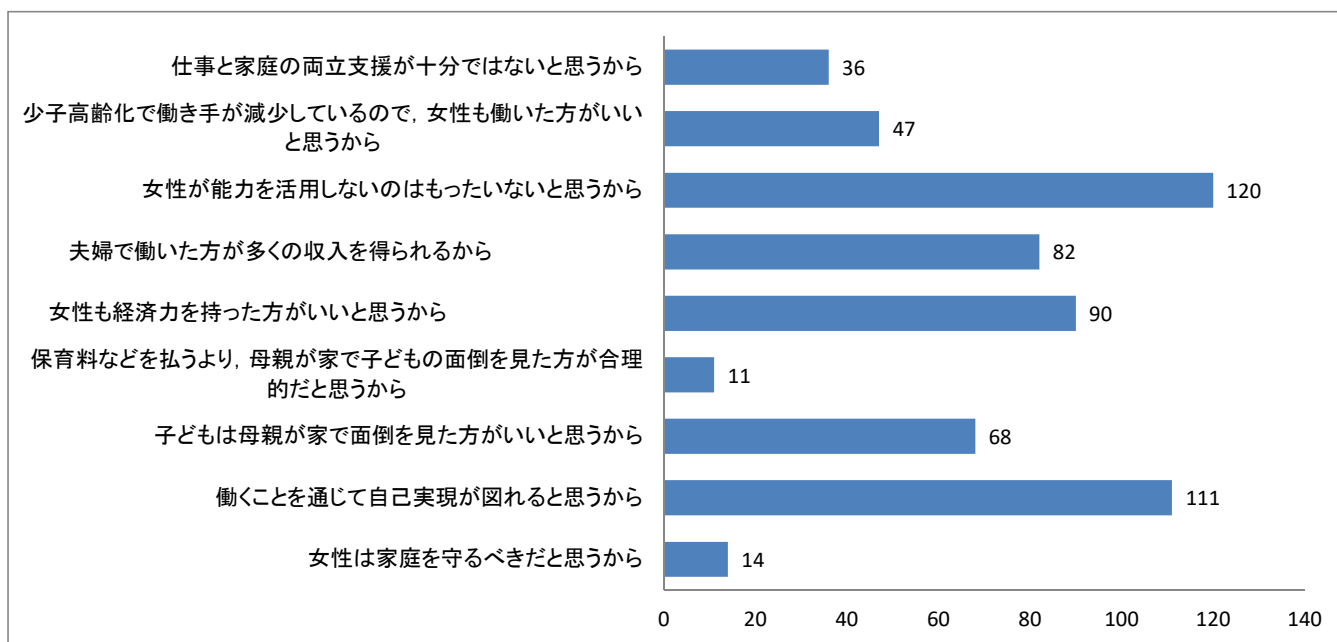
(Q15で「(ア)女性は職業をもたない方がよい」、「(イ)結婚するまでは職業をもつ方がよい」、「(ウ)子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」と答えた方に)

Q15-a それはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。

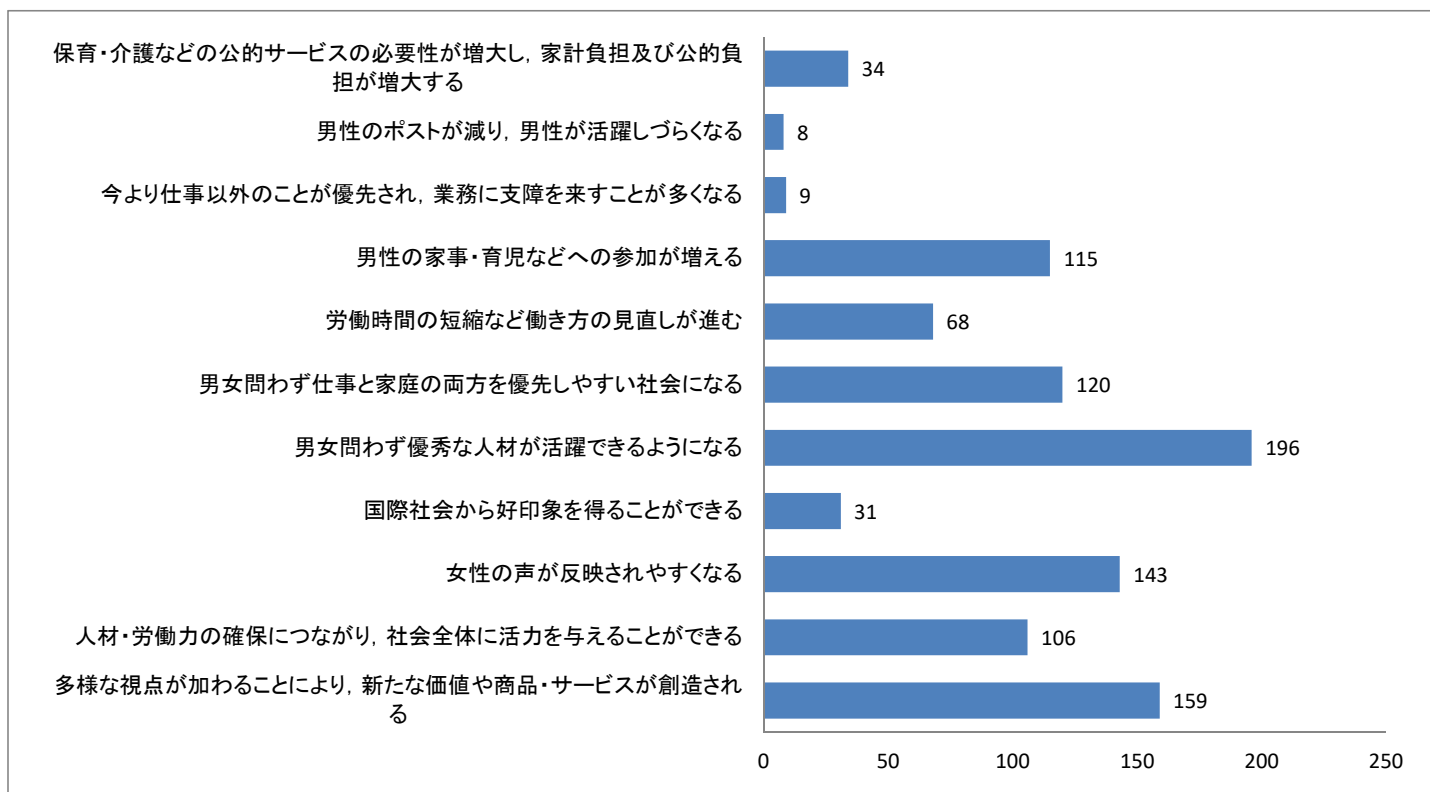


(Q15で「(エ)子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」、「(オ)子どもができれば、職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と答えた方に)

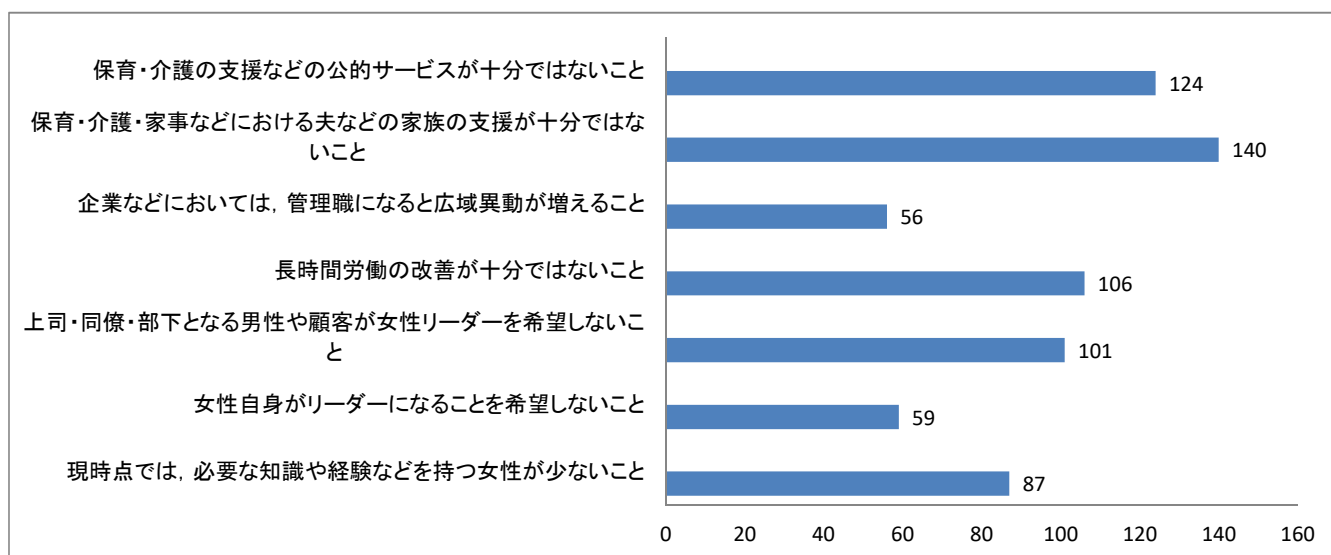
Q15-b それはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。



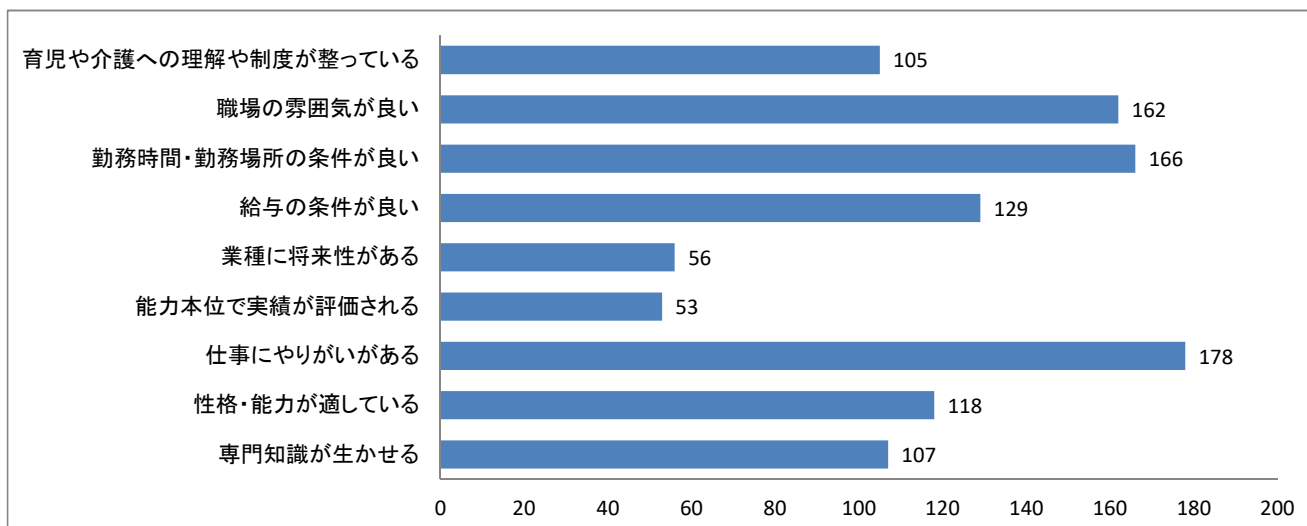
Q16 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。この中からいくつでもあげてください。



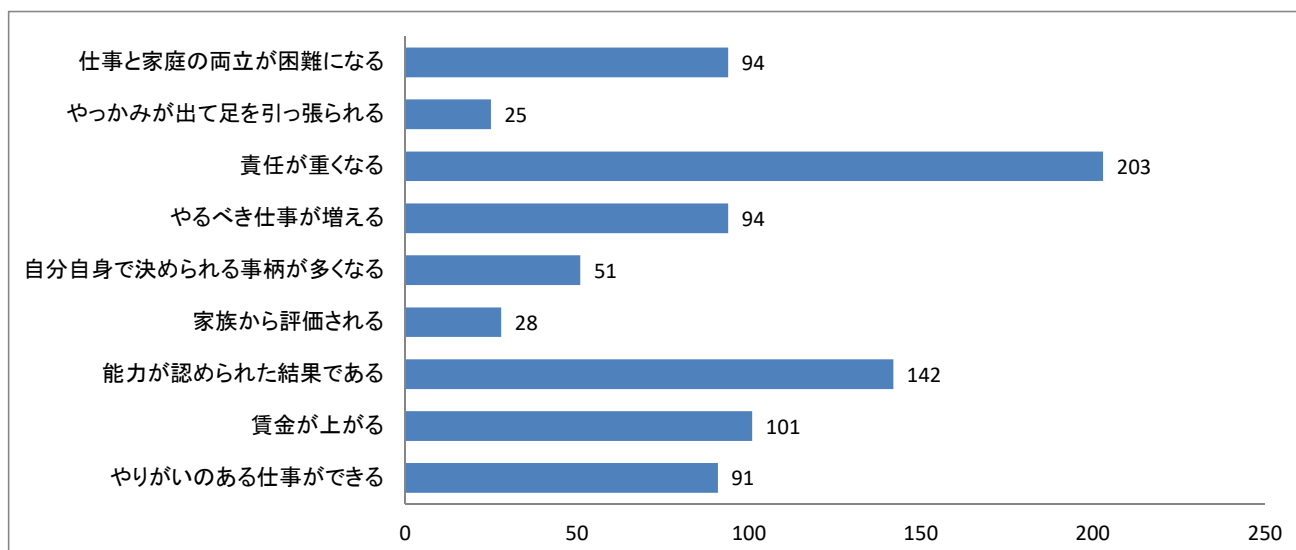
Q17 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



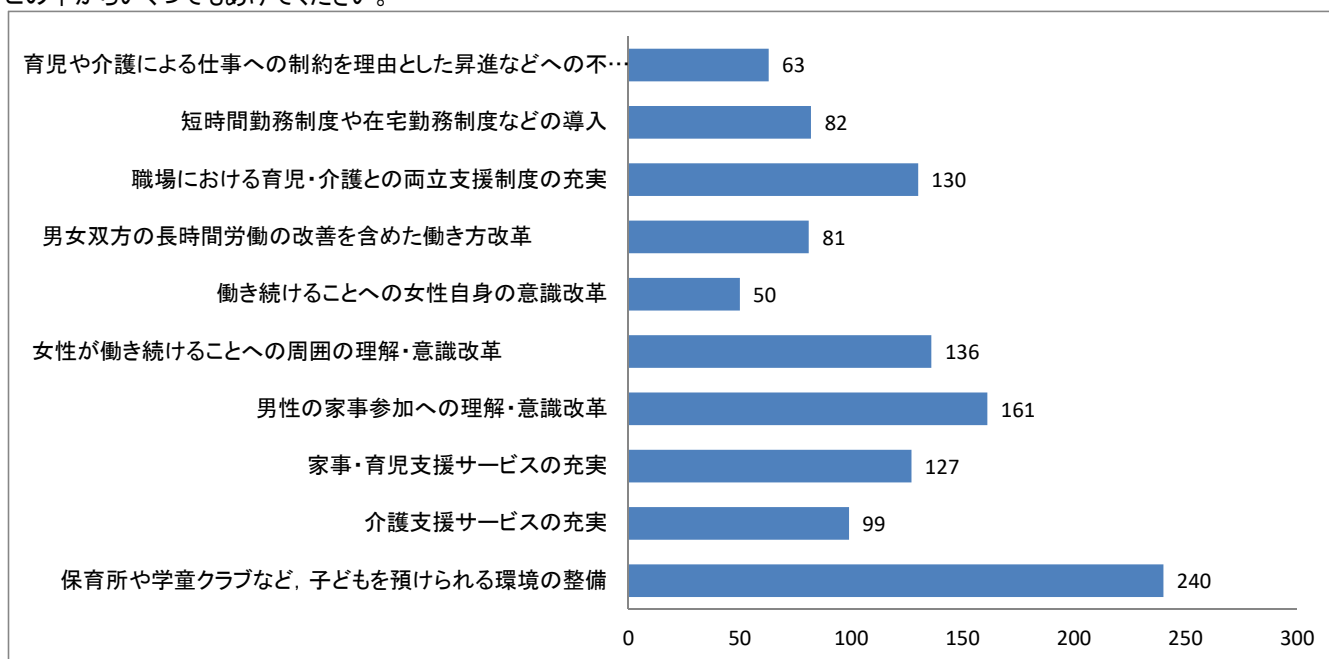
Q18 あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、またはしたいことは何ですか。この中からいくつでもあげてください。



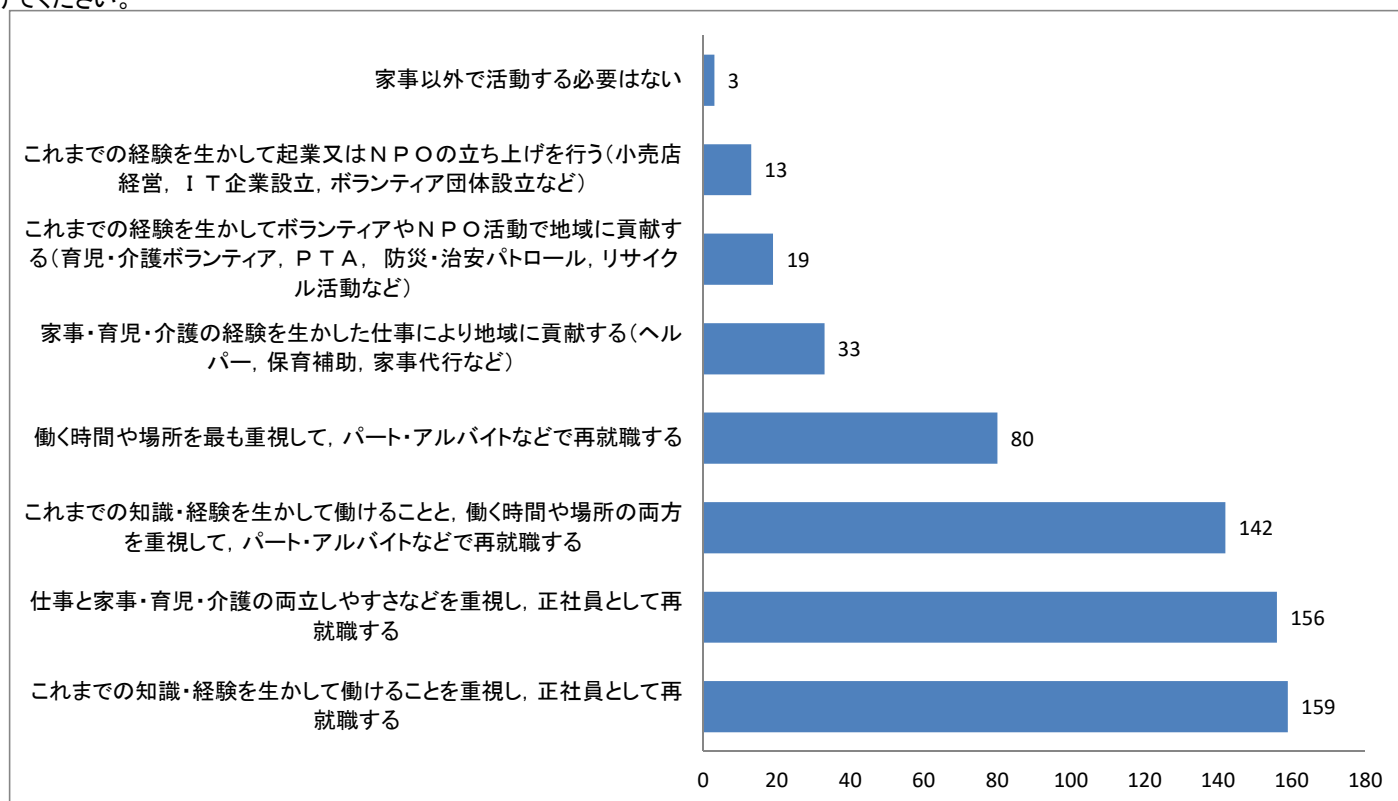
Q19 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。この中からいくつでもあげてください。



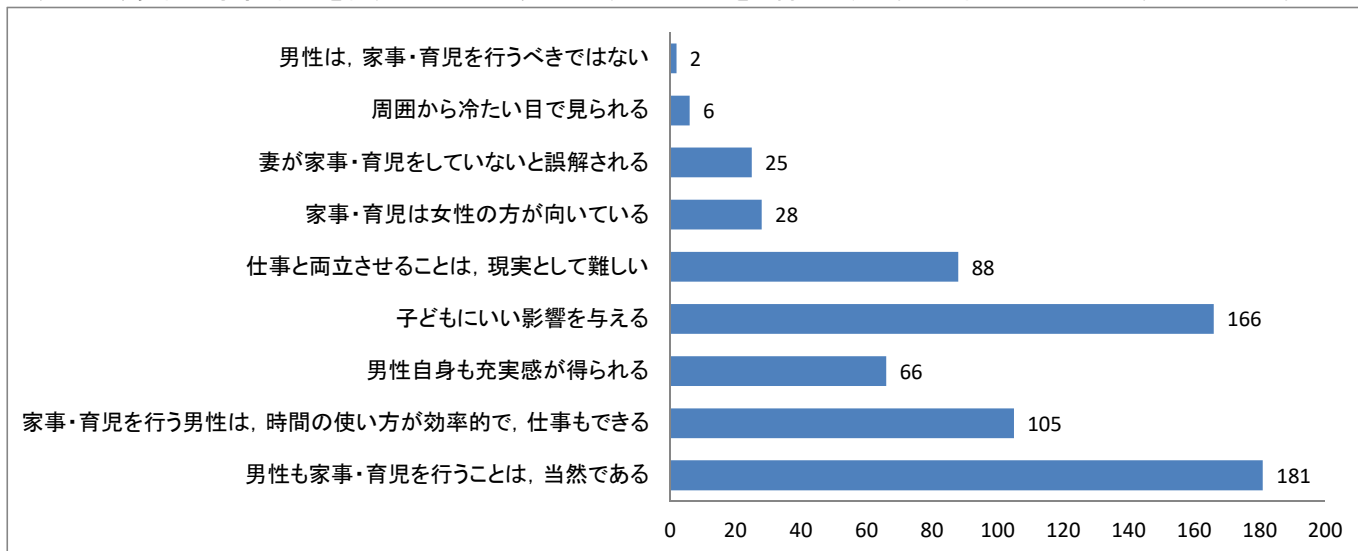
Q20 あなたは、女性が出産後も離職せずと同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



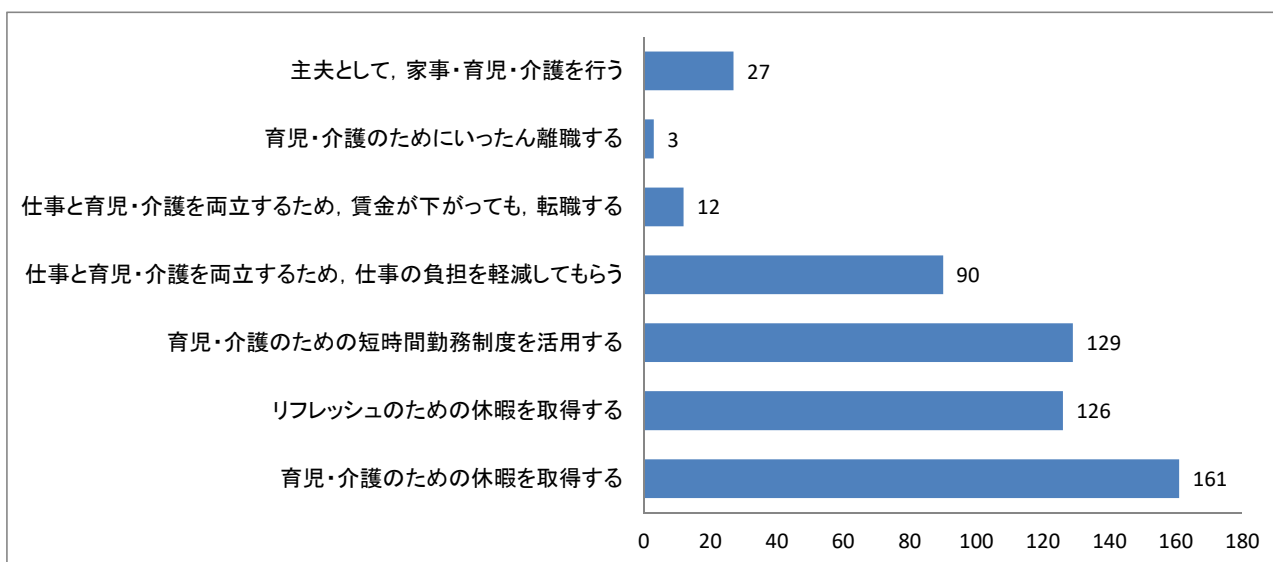
Q21 出産などでいったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものは何ですか。この中からいくつでもあげてください。



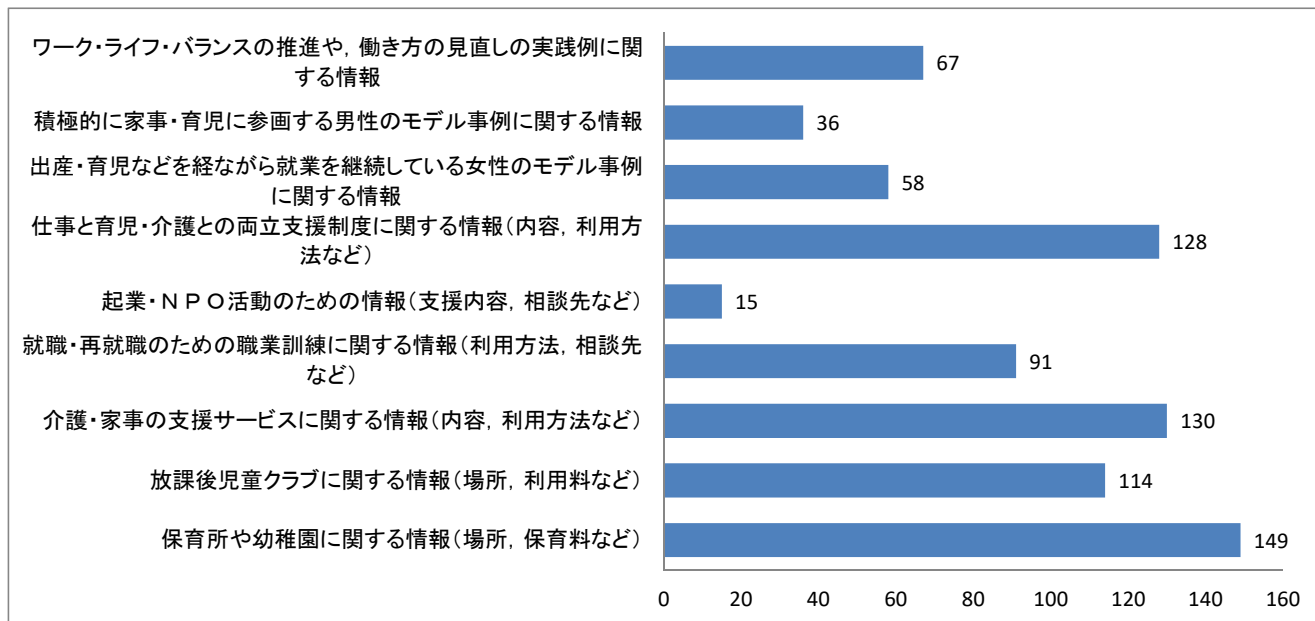
Q22 あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。この中からいくつでもあげてください。



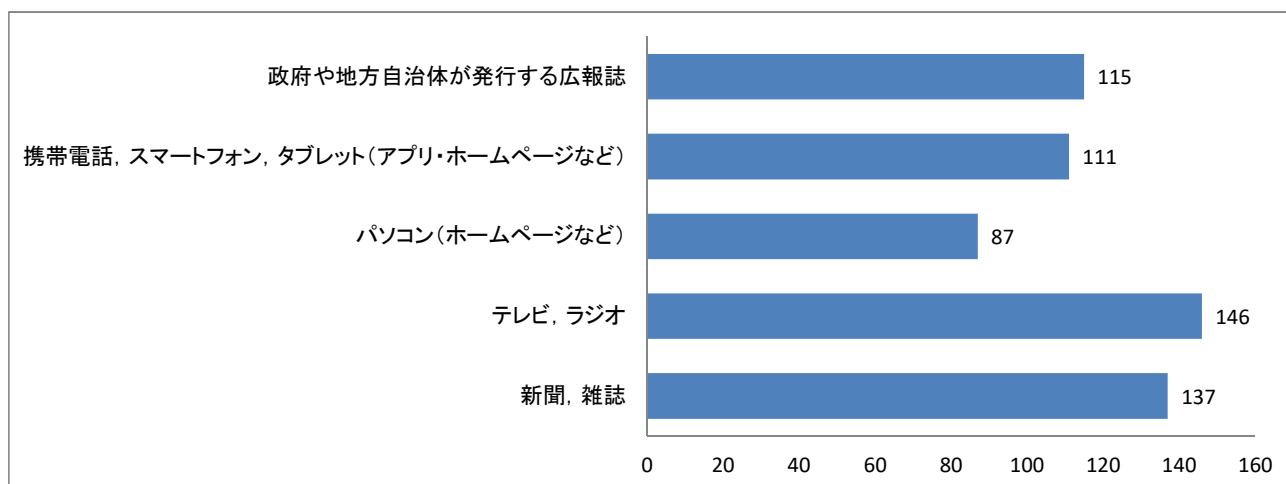
Q23 男性が、仕事以外の生活も重視した働き方を選択することについて、あなたが受け入れられるものはどれですか。この中からいくつでもあげてください。



Q24 あなたは、女性の活躍推進の取組に関する情報のうち、どの情報が特に必要になると感じますか。この中からいくつかもあげてください。



Q24-a あなたが選んだ情報を入手する際、どの媒体を特に利用したいと思いますか。この中からいくつかもあげてください。



**Q25 男女共同参画に関して、ご意見などありましたら、ご記入ください。**

- ①男女共に仕事を持つ時代なのでやはり夫婦平等ということからお互いの努力が必要だと思います。(60代：女性)
- ②一つしかない自分の人生、笑って過ごしたいものです。家族は自分達で作ります。人のせいにせず、家族間でコミュニケーションを充分取り合い、男だからとか女だからとか決めつけずに生活していけたらと思います。  
(60代：女性)
- ③私たち70才は良妻賢母の教育を受けましたが、今は女性も社会人として能力を生かして社会に貢献するべきで行政は力を尽くすべきです。(70代：女性)
- ④男女共同参画が少子化につながらないよう制度等の改革が必要ではないか。  
(50代：男性)
- ⑤将来的に男女の性の境界線はとてまあいまいになると思います。社会が抱えるいくつかの問題が「男女」という切り口で顕著化されている事に危機感を持ちます。男女ではなく。それぞれの「人間」として自由に生きて死ぬ世の中になればいいと考えています。(30代：男性)
- ⑥急に進んでも反発が起こるだろう。徐々に進めればよいと思います。  
(60代：男性)
- ⑦女性が社会的に、有効に参加できるよう、行政への協力を望みます。  
(40代：男性)
- ⑧アンケート内容が多すぎて大変だと感じました。もう少し質問項目を少なくしてほしいです。(20代：女性)
- ⑨わかりやすく漫画風なパンフレットを各家庭に配布してほしい。(40代：男性)
- ⑩多様な情報、雇用面で充実。(40代：男性)
- ⑪アンケートに対して答えにくい質問が多かったです少し困りました。  
(60代：女性)

⑫現在の状態で満足・非常にやりすぎの現状だと考えている・あまり幸せボケしないよう・住民も町政・国政の取り組みに甘えすぎ・当然だと思っている人が多い・もっと他にやることはないのですか・町内は非常に物価が高い・他県から帰郷した方はみんな言っている。(60代：男性)

⑬能力給にする。(60代：男性)

⑭私たち80才近い人にはちょっとわかりませんでした。(70代：女性)

⑮別に大したことはない今のままでいい。(50代：男性)

⑯その人その職業でいろいろ考え方が違うと思います難しい内容でした。  
(50代：男性)

⑰男女共同参画に関しては賛成ですが、まだ一部の地方で男性の方を優先する町があると思います。それを改善していくにはまだまだ問題点があると思われ  
ます。男女共同参画に関して努力が必要だと思われ  
ます。(60代：女性)

⑱毎日、家事や仕事子育てに追われ時間がないが働かなければ生活が充実できない。どうかしてほしい。男女間での賃金の差も改善してほしい。女性は力仕事は確かに出来ないがそれを理由にしないでほしい。(力仕事だから女性より賃金が高い、力仕事だから家では何もしなくていい、等)子供を産んでも家計が仕事家事がと女性の負担が増えるのでこうしたことが少子化につながっているのでは？(20代：女性)

⑲肝付町には働きたくても働く場があまりない気がします。お店の店員くらいしか。もっと空いてる店舗、土地、利用して何か出来ないものか？と思います。若い人達が帰ってきて働ける故郷にしたいと思います。(50代：女性)

⑳このアンケートを見て皆さんで相談していただき、少しでも意見をしっかりと検討してもらいたい。ただ、この資料を簡単に考えないでほしい。自分なりに考えて答えたつもりです。女性の方にも積極的に参加してこのアンケートを見  
てもらいたい  
です。この結果を広報及びインターネットでも発表してほしい。そうしないと結果が気になります。宜しくお願  
い  
します。町民の一人として。町長も見てほしいですね。(60代：男性)



②①男女が対等な構成員としてあらゆる活動に参画出来る機会が確保されるよう望む。(60代：男性)

②②アンケートを記入しながらも感じたことですが男性が～女性が～の前に一人の人間として人生を生きる、その為には家事もあり生活もある、育児も介護もあることを教育のなかに又セミナーや情報等で浸透させることが必要と考えます。(60代：女性)

②③男女共同参画であって女性がリーダーになってもやはり男性の人権を尊重しつつ学びあってほしい。(70代：女性)

②④こういう時代がくるとは、嬉しい事です。少子化の中で男性が、女性がと言ってる時代ではなくなりました。自分のできる事をお互いが補い合って生活することが大切だと思います。人生100年の計も言われています。自分の人生を10年ごとにどう生きるかと考えると、10代すべき事、20代すべき事、30代で、40代で、50代でと考えた時、自分の人生をどう生きるか、パートナーとどういう関係を築いていくか考える事で社会人としてどうなればいいのか、答えがある様に思います。子育てに支援金をとか、高齢者の医療費を安くとか、目先の事だけで解決ついたように思いますが、いつの時代も自助努力は大切です。社会に解決を求めるのではなく、自分の努力と知恵：社会への責任を果たす事が大切だと思います。肝付町にも偉大なリーダーが出現することを願います。千年先まで見据えた町政のできるお役人が出ることを願います。小さな子供達に胸を張って渡せる社会を作りたい。(60代：女性)

②⑤女性の働き場は取り上げられるが男性としても家事があるから早く帰らないとと女性は帰れるが、男性は仕事が終わってから明日や行事の準備、家に帰っても仕事のことをしたり、どうなのだろう？考えられることはないのだろうか？(40代：男性)

②⑥昨今、老人福祉はかゆいところに手が届くほど充実してきたにもかかわらず育児についてはもう一つといったところではないかと考えています。娘の友人で母子家庭、休日出勤もある職場で働いてる人がいます。休日出勤の日は鹿屋の学童まで一人2000円の負担金を支払って預けてから出勤してる人がいます。立派な福祉会館ができましたが、朝10時からでは話になりません。地位向上の前に職場ではたらき続けることが難しくなるような現実に向けてほしいです。週休2日があたりまえのように感じるところがあるのですが製造業に

関しては休日日曜出勤があるようなところはあたりまえです。心置きなく働けてこそ力も出せ能力も発揮できるでしょう。日曜日夏休み学童にもはいれず、家で8時間テレビとおやつが子守をする現実もあります。それらの対策をまず解決してこそ女性の働き方改革だと思います。(60代)

②7 住民の身近な議員として市町議会議員に女性が立候補しやすい様に市民町民が意識を高め女性ならではの意見要望を出して頂きたいと思います。(60代：男性)

②8 肝付町の現状はどうなんでしょうか？役場、議会、教師、医療介護福祉関係等。(60代：男性)

②9 女性の意識や意欲は以前に比べ積極的になってると思うがそれを活かせる制度や組織が整ってないと思う。男性の側に女性に対する差別意識が根強く残っているのではないだろうか。(70代：男性)

③0 色々様々な事柄について今まで知らなかったので実に良い勉強になりました。本当に心からありがとうございました。皆様方もどうぞお体に気おつけられ頑張ってください。(70代：女性)